

(4) 4年生指導案

4年 Lesson 1 友達や家族を紹介しよう (1/4)											
単元の目標	英語を使って友達を紹介したり、写真や絵を使って家族や親せきの職業を言いながら紹介したりする活動を通して、男性や女性を表す英語の違いを理解し、積極的に友達を紹介しようとする										
この時間の目標	語彙・表現										
友達の紹介ができる。	This is my friend, Ken. Nice to meet you. Nice to meet you, too. ~										
準備	絵本、えいごリアン、デジタル教材										
学習過程	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">活動内容 (○)</th> <th style="width: 50%;">教師の支援 (☆) 留意点 (○)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> Warm up 10分 T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と数字 father fine ○Pal the Parrot を読む。 </td> <td></td> </tr> <tr> <td> 導入 10分 ○えいごリアンを視聴 1-①2「ユージくんジャニカに会う」 This is my friend, Mai(Ken). ○友達を紹介しよう ①教師がモデルを見せる。 ALT を紹介したり、子どもになつたつもりで、何人かの子どもを紹介したりする。 ②This is my friend, Mai (Ken). をグループの中で練習する。 ③代表者がみんなの前で友達の紹介をする。 This is my friend, Mai (Ken) </td> <td></td> </tr> <tr> <td> 活動 10分 ○友達紹介ゲーム 3人で行う例 A, B, C A: Hi C, C: Hi A. A: This is my friend, B, B: This is my friend C. C: Nice to meet you, B. B: Nice to meet you, C メンバーを変えて何回か行う。 ※3人で行う紹介が難しいようなら、一人ひとりを確実に紹介できるように練習する。 </td> <td> ○教師、子どもと一緒にモデルをしっかりと見せる ○このように英語の会話では相手の名前を繰り返す例が多い。 ○子どもが同じ役割を繰り返さないように工夫する。 </td> </tr> <tr> <td> 振り返り 3分 ○振り返り H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day. </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	Warm up 10分 T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と数字 father fine ○Pal the Parrot を読む。		導入 10分 ○えいごリアンを視聴 1-①2「ユージくんジャニカに会う」 This is my friend, Mai(Ken). ○友達を紹介しよう ①教師がモデルを見せる。 ALT を紹介したり、子どもになつたつもりで、何人かの子どもを紹介したりする。 ②This is my friend, Mai (Ken). をグループの中で練習する。 ③代表者がみんなの前で友達の紹介をする。 This is my friend, Mai (Ken)		活動 10分 ○友達紹介ゲーム 3人で行う例 A, B, C A: Hi C, C: Hi A. A: This is my friend, B, B: This is my friend C. C: Nice to meet you, B. B: Nice to meet you, C メンバーを変えて何回か行う。 ※3人で行う紹介が難しいようなら、一人ひとりを確実に紹介できるように練習する。	○教師、子どもと一緒にモデルをしっかりと見せる ○このように英語の会話では相手の名前を繰り返す例が多い。 ○子どもが同じ役割を繰り返さないように工夫する。	振り返り 3分 ○振り返り H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day.	
活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)										
Warm up 10分 T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と数字 father fine ○Pal the Parrot を読む。											
導入 10分 ○えいごリアンを視聴 1-①2「ユージくんジャニカに会う」 This is my friend, Mai(Ken). ○友達を紹介しよう ①教師がモデルを見せる。 ALT を紹介したり、子どもになつたつもりで、何人かの子どもを紹介したりする。 ②This is my friend, Mai (Ken). をグループの中で練習する。 ③代表者がみんなの前で友達の紹介をする。 This is my friend, Mai (Ken)											
活動 10分 ○友達紹介ゲーム 3人で行う例 A, B, C A: Hi C, C: Hi A. A: This is my friend, B, B: This is my friend C. C: Nice to meet you, B. B: Nice to meet you, C メンバーを変えて何回か行う。 ※3人で行う紹介が難しいようなら、一人ひとりを確実に紹介できるように練習する。	○教師、子どもと一緒にモデルをしっかりと見せる ○このように英語の会話では相手の名前を繰り返す例が多い。 ○子どもが同じ役割を繰り返さないように工夫する。										
振り返り 3分 ○振り返り H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day.											
評価	積極的に発表している。										
評価	友達の紹介をすることができている。										

3年 Lesson 11 自分のことを伝えよう (3/3)																			
単元の目標	英語による自己紹介を聞いた後、自己紹介をしたりする活動を通して、相手に理解してもらえようとする表現を用いることや、伝える際の表情、態度等の大切さに気づき、自分のことについて伝えるための表現の技能を身に付け、積極的に英語で伝えようとする。																		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現																		
他の人の自己紹介を聞いて理解する。相手によつて自己紹介の内容を考える。	Hi, I'm ~, I'm ~ (years old), I'm from ~, I live in ~, I have ~, I like ~, Thank you.																		
準備	絵本、デジタル教材、自己紹介カード																		
学習過程	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">活動内容 (○)</th> <th style="width: 50%;">教師の支援 (☆) 留意点 (○)</th> <th style="width: 50%;">評価のポイント (◇)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> Warm up 10分 ○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と数字 ○Me Myself を読む。 </td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 導入 10分 ○発表 子どもの発表に、教師、または、ALT が英語で質問したり、又は感想を一つだけ言ったりする。 Do you have ~? Do you like ~? What ~ do you like? に係る。 </td> <td> ○ビデオに振り、6年時での成長と比較する。 ◇自己紹介ができる。 ◇内容、英語、声の大きさ、態度に注意する。 </td> <td></td> </tr> <tr> <td> 活動 10分 ○質問タイム 時間があれば、それぞれの内容についてグループ内で、さらに質問し合う(教師がした質問を参考にする)。 </td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 活動 12分 ○自己紹介カード作成 I'm, I'm ~ (years old), I come from ~, I live in ~, I have ~, I like ~. </td> <td> ○左記の英文を書いたカードを配布し、～の部分には下線が引かれてあり下線の部分について記入する。 ※適宜、日本語や絵を用いてもよい。 </td> <td> ◇自己紹介ができる。(文字を始めて) </td> </tr> <tr> <td> 振り返り 3分 ○振り返り H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day. </td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)	Warm up 10分 ○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と数字 ○Me Myself を読む。			導入 10分 ○発表 子どもの発表に、教師、または、ALT が英語で質問したり、又は感想を一つだけ言ったりする。 Do you have ~? Do you like ~? What ~ do you like? に係る。	○ビデオに振り、6年時での成長と比較する。 ◇自己紹介ができる。 ◇内容、英語、声の大きさ、態度に注意する。		活動 10分 ○質問タイム 時間があれば、それぞれの内容についてグループ内で、さらに質問し合う(教師がした質問を参考にする)。			活動 12分 ○自己紹介カード作成 I'm, I'm ~ (years old), I come from ~, I live in ~, I have ~, I like ~.	○左記の英文を書いたカードを配布し、～の部分には下線が引かれてあり下線の部分について記入する。 ※適宜、日本語や絵を用いてもよい。	◇自己紹介ができる。(文字を始めて)	振り返り 3分 ○振り返り H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.		
活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)																	
Warm up 10分 ○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と数字 ○Me Myself を読む。																			
導入 10分 ○発表 子どもの発表に、教師、または、ALT が英語で質問したり、又は感想を一つだけ言ったりする。 Do you have ~? Do you like ~? What ~ do you like? に係る。	○ビデオに振り、6年時での成長と比較する。 ◇自己紹介ができる。 ◇内容、英語、声の大きさ、態度に注意する。																		
活動 10分 ○質問タイム 時間があれば、それぞれの内容についてグループ内で、さらに質問し合う(教師がした質問を参考にする)。																			
活動 12分 ○自己紹介カード作成 I'm, I'm ~ (years old), I come from ~, I live in ~, I have ~, I like ~.	○左記の英文を書いたカードを配布し、～の部分には下線が引かれてあり下線の部分について記入する。 ※適宜、日本語や絵を用いてもよい。	◇自己紹介ができる。(文字を始めて)																	
振り返り 3分 ○振り返り H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.																			

4年 Lesson 1 友達や家族を紹介しよう (2/4)			
単元目標	英語を使って友達を紹介したり、写真や絵を使って家族や親せきの職業を言いながら紹介したりする活動を通して、男性や女性を表す英語の違いを理解し、積極的に友達を紹介しようとする		
準備	絵本、えいごリアン、デジタル教材、マンガキャラクターのコピー	言葉・表現	Who is this? This is my sister, ~ grandfather, grandmother, father, mother, sister, brother, cousin, aunt, uncle
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価 (◇)
導入 10分	T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○首と教字 father fine ○Pal the Parrot を読む。 ○えいごリアンを視聴 1-③-1 「その写真の人は誰」		
活動 10分	○家族を紹介します① ちひまるちゃん、サザエさん、サザエさん一家等を利用して家族の名前を練習する。(ネットで写真をコピーする) grandlather, grandmother, cousin, aunt, uncle (dad, mom, brother, sister, grandpa, grandma は2年で既習のことをふれる) ○ALT との model presentation HRT: I'm Sazae. ALT: Hi Sazae san. HRT: Hi, Chris. ALT: Is this your family(写真をさしながら) HRT: Yes. ALT: Who is this? HRT: This is my mother, Fune	○4年では家族の言い方はフォーマルな言い方を学ぶ。 ○だれを基点にするかで家族の言い方が変わる。	
活動 12分	○家族を紹介します② ① 教師が写真を指さし、Who is this? と聞く。 子どもは全員でちひまるちゃん、かつお、わかめ、たらちゃんになつたつもりで、This is my sister, Sazae. 等と答える。 * 「きみたちは今かおくんだよ」等と状況を設定する。 ② グループで、練習し合う。	○グループに写真を配り、子どもは写真をさしながらいちばん行こう。(深い距離から this は使えない)	◇家族のメンバーをたずねたり、言ったりできる。
振り返り 3分	○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 1 友達や家族を紹介しよう (3/4)			
単元目標	英語を使って友達を紹介したり、写真や絵を使って家族や親せきの職業を言いながら紹介したりする活動を通して、男性や女性を表す英語の違いを理解し、積極的に友達を紹介しようとする		
準備	絵本、えいごリアン、デジタル教材、教師、子どもは写真または絵を用意	言葉・表現	She (He) is ~. student, teacher, doctor, office worker, nurse 等
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価 (◇)
Warm up 10分	T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○首と教字 father fine ○Pal the Parrot を読む。 ○えいごリアンを視聴 1-③-3 「家族紹介ゲーム」		
導入 10分	○he, she を学習 教師は子どもを一人ずつ示しながら(指ささないように注意)、he または she と言っていく。さらに、子どもたちも、教師と一緒に he, または she を言いつつ練習する。	○男性が he 女性が she と言う事を気づかせる ○自然と子どもが練習できるようになる。	
活動 10分	○MOVIE or PWP 職業の名前を覚えよう ① student, teacher, doctor, office worker, nurse 等一般的で簡単なものを教える。 ② キーワードゲーム等で練習する。 ③ he, she を使い、He is a teacher. 等を練習する。 This is my father, David. He is a doctor. の練習を来週行うので、家族親戚の写真、または絵を準備させる。(職業は練習した中になければ言わなくてよい)		
活動 12分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 1 友達や家族を紹介しよう (4/4)		語彙・表現	
単元の目標	英語を使って友達を紹介したり、写真や絵を使った家族や親せきの職業を言いながら紹介したりする活動を通して、男性や女性を表す英語の違いを理解し、積極的に友達を紹介しようとする。	この時間の目標	友達や家族を、職業その他を言いながら紹介する。 This is my ~. She (He) is ~. student, teacher, doctor, nurse, office worker
準備	絵本、デジタル教材、教師、子どもは写真または絵を用意	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価(◇)
学習過程	活動内容(○)		
Warm up 10分	T: Hi, class! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○首と数字 father fine ○Pal the Parrot を読む。		
導入 15分	○MOVIE この人誰? ①MOVIE をみた後で教師によるモデルデモンストラーション。教師の家族、漫画、他の家族等の絵、写真を貼る。 ○子どもは、Who is this?と質問した(来て指さす)と質問する。 教師は、This is my cousin, Shota. He is an office worker. 等と言う。何例か行う。職業は言わなくてもよい。(Who is this? と質問したほうが、He is nice (cool, cute) 等と言いつ返せるように練習する。 ②ペア、またはグループで練習を行う。	○HRT/ALT 等がモデルで見せる。 ○this と言うときは近くで指し示す。 ☆教師と一組の練習を多くしながら、職業を復習できるようにしたり、形容詞を復習したりできるように練習する。	
活動 8分	○この人誰? A (質問する子) B (紹介する子) の2グループに分ける。B は写真または絵を用意し、ペアを見つけて言い合う。 A: Who is this? B: This is my brother, Ken. (He is a student.) A: He is cool.	○家族全員ではなく、一人か二人を選んで紹介。	◇絵や写真等を見せながら家族等の簡単な紹介をすることができる。
活動 7分	○この人は誰? 役割を変えて行う。 ○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 2 ペットを飼っていますか (1/4)		語彙・表現	
単元の目標	ペットや家族・親戚等について紹介し合う活動を通して、飼っているペットについての表し方等に気付かせ、ペットを飼っているかどうかや興味あるペットについて自分かどう思うか話したりするたための表現を身に付け、英語で友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	この時間の目標	ペットを飼っているか?と質問されたら答えられること。ペットとして飼われる動物の名前を聞いたり言ったりすることができる。
準備	デジタル教材	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価(◇)
学習過程	活動内容(○)		
Warm up 10分	○T: Hi, class! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○首と文字 cat cap		
導入 10分	○MOVIE① scene1 何人かの人物等が Do you have any pets? と聞いて Yes/ I do/ or No, I don't と答える。 ○次に5、6人の子どもに Do you have any pets? と質問して Yes/ I do/ or No, I don't と答えさせたりする。*飼っている動物を具体的に答える子どもがいたらほめる。	☆ALT があれば一緒にモデルタイプログをする。 ☆教師が Do you have any pets? と聞いて、子どもが Yes, I do, No, I don't. と答えられるように助ける。	
活動 10分	○MOVIE① scene 2 ペットの英語を認識する。dog, cat, turtle, hamster, crayfish, killifish, bird, goldfish, rabbit 等、自分の飼っている動物を英語で言えるように練習する。特殊なものはない。木語でもよい。 ○教師は、Do you have any pets? と教人の子どもに聞く。 Yes, I do. I have a cat. or No, I don't. * I have two cats. or I have some cats.	☆MOVIE で確認し、発音練習をする。 ○複数場合は I have some ~s. fish は some fish ではなく some fish である。 ○子どもは間違ってもよいが教師は正しい英語を言い続ける。	
活動 12分	○グループの中で Do you have any pets? Yes, I do. I have a cat (two cats). Or No, I don't. と聞きあう練習をする。		
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 2 ペットを飼っていますか (2/4)			
単元の目標	この時間の目標	言葉・表現	
ペットや家族・親戚等について紹介し合う活動を通して、飼っているペットについての表し方等に欠付き、ペットを飼っているかどうか尋ねたりペットについて自分がどう思っているかを話したりするための表現を身に付け、英語で友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	ペットを飼っているかと質問し、いると答え、ペットの種類や名前を言うことができる。	Do you have any pets? Yes, I do. I have a ~. (dog, cat, turtle, hamster, crayfish, bird, goldfish, rabbit) He's/She's smart(cute, my best friend) No, I don't.	
準備	デジタル教材	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価(◇)
学習過程 Warm up 10分	OT: Hi, class! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. O: What day of the week is it today? O: What month is it? O: 音と文字	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. O: What day of the week is it today? O: What month is it? O: 音と文字	
導入 8分	OMOVIE@scene 5 A: Do you have any pets? B: Yes, I do. I have a ~. She He. (It's) cute (smart, my best friend) 等言う。 Momo is its name. *名前は言わなくともよい A: Sounds good (nice) 等と言う。 *複数のとき (この方が多い) A: Do you have any pets? B: Yes, I do. I have two ~s. (I have a cat and some fish.) They're cute A: Sounds good (nice) 等と言う。	○ペットを飼っている子どもたちの英語表現、それを聞いたときの応答表現を学ぶ。 ★簡単であれば子どもが言いたい表現を教える I love Tama. I want a cat too.	◇興味・関心
活動 8分	OMOVIE ② もう一度 scene 5 を見て表現を確認する。		
活動 16分	○ペア、グループで練習 今回は隣のグループの子どもと練習する。ペットを飼っていない子どもは「No, I don't.」とだけ答える。 ○全体で自由にコミュニケーションを行う。		◇友達と積極的に関わろうとしている。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 2 ペットを飼っていますか (3/4)			
単元の目標	この時間の目標	言葉・表現	
ペットや家族・親戚等について紹介し合う活動を通して、飼っているペットについての表し方等に欠付き、ペットを飼っているかどうか尋ねたりペットについて自分がどう思っているかを話したりするための表現を身に付け、英語で友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	ペットを飼っているかと質問し、飼っていない子どもはどんなペットがほしいか言うことが出来る	Do you have any pets? No, I don't. But I want a dog. (I like hamsters. / I had a cat. my grandma has a rabbit.)	
準備	デジタル教材	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価(◇)
学習過程 Warm up 10分	OT: Hi, class! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. O: What day of the week is it today? O: What month is it? O: 音と文字	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. O: What day of the week is it today? O: What month is it? O: 音と文字	
導入 10分	○前週のMOVIE② scene 5 を見て復習する。 ○MOVIE③ scene 6 続きのMOVIE(ペットを飼っていない子どもC) A: Do you have any pets? C: No, I don't. (But I want a dog./ I like dogs. ○MOVIE③scene 5 で練習 パート別で練習	★簡単であれば子どもが言いたい表現を教える。 No, I don't. に続けて I had a dog. または My grandma has a cat. 等	◇友達と積極的に関わろうとしている。
活動 10分	○ペア、グループ練習 ペットを飼っていない人がいなければ、となりのグループの人にも質問して練習できるようにする。		
活動 12分	○MOVIE 前の内容に How about you? 等で会話を続け、さらなる発展的なコミュニケーションを聞く。 ○全体で自由にコミュニケーションを行う。		
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 2 ペットを飼っていますか (4/4)		語彙・表現		
単元の目標	ペットや家族・親戚等について紹介し合う活動を通して、飼っているペットについての話し方を等に気が付き、ペットを飼っているかどうか尋ねたりペットについて自分がどう思っているかを話したりするための表現を身に付け、英語で友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	この時間の目標	Do you have any brothers or sisters(cousins)? Yes, I do. I have two sisters. No, I don't. kind tail	
準備	デジタル教材 絵と文字が表裏のカード	教師の支援(☆)	留意点(○)	
学習過程	Warm up 10分 ○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と文字 ○MOVIE④ 『兄弟姉妹、いとこ等がいるかどうかの話題』 例 A: Do you have any brothers or sisters(cousins)? B: Yes, I do. I have a sister (two sisters). She's kind. Or No, I don't. A: Sounds nice. Or Do you want a brother or sister? B: I want a brother. ○グループ練習 C: Do you have any sisters (brothers, cousins)? D: Yes, I do. I have one sister and one brother. She is kind and he is tall and smart. or No, I don't. I want a brother. Etc. ○文字活動 (自己紹介カルタゲーム) ①4人程度のグループになり、札を合わせる。 ②brother, sister, dog, cat 等の絵と文字が表裏になっ ているカードを私私し、絵のほうを表にして札に置く ③最初、教師が自己紹介で、Hello. My name is _____ I have a sister. She is kind. 等と言うと、子どもは sister と思う女の字の絵をとる。裏に sister と書いて あれば OK。★取ったカードはすべて戻す ④教師に続けて、希望の子どもに自己紹介をさせ、同じ 用にカードをとる。 ○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day.	評価(◇)		
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と文字 ○MOVIE④ 『兄弟姉妹、いとこ等がいるかどうかの話題』 例 A: Do you have any brothers or sisters(cousins)? B: Yes, I do. I have a sister (two sisters). She's kind. Or No, I don't. A: Sounds nice. Or Do you want a brother or sister? B: I want a brother. ○グループ練習 C: Do you have any sisters (brothers, cousins)? D: Yes, I do. I have one sister and one brother. She is kind and he is tall and smart. or No, I don't. I want a brother. Etc. ○文字活動 (自己紹介カルタゲーム) ①4人程度のグループになり、札を合わせる。 ②brother, sister, dog, cat 等の絵と文字が表裏になっ ているカードを私私し、絵のほうを表にして札に置く ③最初、教師が自己紹介で、Hello. My name is _____ I have a sister. She is kind. 等と言うと、子どもは sister と思う女の字の絵をとる。裏に sister と書いて あれば OK。★取ったカードはすべて戻す ④教師に続けて、希望の子どもに自己紹介をさせ、同じ 用にカードをとる。 ○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day.	教師の支援(☆)	留意点(○)	評価(◇)
導入 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と文字 ○MOVIE④ 『兄弟姉妹、いとこ等がいるかどうかの話題』 例 A: Do you have any brothers or sisters(cousins)? B: Yes, I do. I have a sister (two sisters). She's kind. Or No, I don't. A: Sounds nice. Or Do you want a brother or sister? B: I want a brother. ○グループ練習 C: Do you have any sisters (brothers, cousins)? D: Yes, I do. I have one sister and one brother. She is kind and he is tall and smart. or No, I don't. I want a brother. Etc. ○文字活動 (自己紹介カルタゲーム) ①4人程度のグループになり、札を合わせる。 ②brother, sister, dog, cat 等の絵と文字が表裏になっ ているカードを私私し、絵のほうを表にして札に置く ③最初、教師が自己紹介で、Hello. My name is _____ I have a sister. She is kind. 等と言うと、子どもは sister と思う女の字の絵をとる。裏に sister と書いて あれば OK。★取ったカードはすべて戻す ④教師に続けて、希望の子どもに自己紹介をさせ、同じ 用にカードをとる。 ○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day.	教師の支援(☆)	留意点(○)	評価(◇)
活動 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と文字 ○MOVIE④ 『兄弟姉妹、いとこ等がいるかどうかの話題』 例 A: Do you have any brothers or sisters(cousins)? B: Yes, I do. I have a sister (two sisters). She's kind. Or No, I don't. A: Sounds nice. Or Do you want a brother or sister? B: I want a brother. ○グループ練習 C: Do you have any sisters (brothers, cousins)? D: Yes, I do. I have one sister and one brother. She is kind and he is tall and smart. or No, I don't. I want a brother. Etc. ○文字活動 (自己紹介カルタゲーム) ①4人程度のグループになり、札を合わせる。 ②brother, sister, dog, cat 等の絵と文字が表裏になっ ているカードを私私し、絵のほうを表にして札に置く ③最初、教師が自己紹介で、Hello. My name is _____ I have a sister. She is kind. 等と言うと、子どもは sister と思う女の字の絵をとる。裏に sister と書いて あれば OK。★取ったカードはすべて戻す ④教師に続けて、希望の子どもに自己紹介をさせ、同じ 用にカードをとる。 ○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day.	教師の支援(☆)	留意点(○)	評価(◇)

4年 Lesson 3 どこにありますか (1/4)		語彙・表現		
単元の目標	英語を使って物が置いてある場所を質問したり答えたりする活動を通して、英語と日本語では物が置いてある場所の表し方の違いがあることに気が付き、物が置いてある場所を尋ねたり答えたりする表現の技能を身に付け、英語で友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	本時の目標	(in, on, under, behind) the desk. chair, bed, window, curtain, 文房具	
準備	絵本、デジタル教材、切り込み絵、猫、消しゴムなどの絵	教師の支援(☆)	留意点(○)	
学習過程	Warm up 10分 ○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と文字 ○Where is Spot? を読む。 理解できたところ、できなかつたところを話す。 ○MOVIE④ ①on, in, under, behind を手指で表現しながら確認する。 ②オレングラフを使って on, in, under, behind を練習する。 ○どこにあるかな? ①部屋の切り込み絵を用意(グループに1枚) ②子どもは教師が言う英語を聞き、絵に猫等(グループに1枚 の新しい単語は3 時間目に練習す る、	教師の支援(☆)	留意点(○)	評価(◇)
導入 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と文字 ○Where is Spot? を読む。 理解できたところ、できなかつたところを話す。 ○MOVIE④ ①on, in, under, behind を手指で表現しながら確認する。 ②オレングラフを使って on, in, under, behind を練習する。 ○どこにあるかな? ①部屋の切り込み絵を用意(グループに1枚) ②子どもは教師が言う英語を聞き、絵に猫等(グループに1枚 の新しい単語は3 時間目に練習す る、	教師の支援(☆)	留意点(○)	評価(◇)
活動 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と文字 ○Where is Spot? を読む。 理解できたところ、できなかつたところを話す。 ○MOVIE④ ①on, in, under, behind を手指で表現しながら確認する。 ②オレングラフを使って on, in, under, behind を練習する。 ○どこにあるかな? ①部屋の切り込み絵を用意(グループに1枚) ②子どもは教師が言う英語を聞き、絵に猫等(グループに1枚 の新しい単語は3 時間目に練習す る、	教師の支援(☆)	留意点(○)	評価(◇)
活動 12分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と文字 ○Where is Spot? を読む。 理解できたところ、できなかつたところを話す。 ○MOVIE④ ①on, in, under, behind を手指で表現しながら確認する。 ②オレングラフを使って on, in, under, behind を練習する。 ○どこにあるかな? ①部屋の切り込み絵を用意(グループに1枚) ②子どもは教師が言う英語を聞き、絵に猫等(グループに1枚 の新しい単語は3 時間目に練習す る、	教師の支援(☆)	留意点(○)	評価(◇)
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day.	教師の支援(☆)	留意点(○)	評価(◇)

4年 Lesson 3 どこにありますか (2/4)		本時の目標		言葉・表現	
単元の目標		英語を使って物が置いてある場所を質問したり答えたりする活動を通して、英語と日本語では物が置いてある場所の表し方の違いがあることに気づき、物が置いてある場所を尋ねたり答えたりする表現の技能を身に付け、英語で友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。		Where's a(my) ~? It's in (on, under, behind) desk, chair, bed, window, curtain, 文房具	
準備		絵本、デジタル教材			
学習過程		活動内容 (○)		教師の支援(☆) 留意点(○)	
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○What is Spot? を読む。 ○MOVIE②を使って練習 ○on, in, under, behind を手指で表現しながら確認する。 ②オレレンソを使って on, in, under, behind を練習する。ここまでは復習 ③MOVIEの中で Where is a cat ~? It's on(in, under, behind)を練習する。	○①、②は先週と同じなので見せなくともよい。 ○my~ の表現を意識させる。			
導入 10分	○どこにありますか? ①教師はあらかじめ自分の文房具等を机の周りのどこかに置いて置き、Where's my pencil case? 等と尋ね、子ども全員で "It's on the desk." etc. と答えさせる。 ②異なる品物で教回行う。 ③ペアで練習する。				
活動 10分	○あてっこゲーム (グループ対抗) ①代表者二人がお互いに背を向ける (それぞれの前には机を置く。 ②ひとりか文房具を机の in, on, under, behind のいずれかに置き、Where is my ~?と質問する。 ③もう一人は、はそれを予想して It's on the desk. 等と答える。合っていたら1点。 ○振り返り H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.				
活動 12分	○あてっこゲーム (グループ対抗) ①代表者二人がお互いに背を向ける (それぞれの前には机を置く。 ②ひとりか文房具を机の in, on, under, behind のいずれかに置き、Where is my ~?と質問する。 ③もう一人は、はそれを予想して It's on the desk. 等と答える。合っていたら1点。 ○振り返り H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.				
振り返り 3分	○振り返り H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.				

4年 Lesson 3 どこにありますか (3/4)		本時の目標		言葉・表現	
単元の目標		英語を使って物が置いてある場所を質問したり答えたりする活動を通して、英語と日本語では物が置いてある場所の表し方の違いがあることに気づき、物が置いてある場所を尋ねたり答えたりする表現の技能を身に付け、英語で友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。		Where's your ~? It's in (on, under, behind), Sorry? desk, chair, bed, window, curtain, key, purse, picture, ball, letter (文房具など既習語彙)	
準備		デジタル教材、えいごリアン、部屋の絵、品物			
学習過程		活動内容 (○)		教師の支援(☆) 留意点(○)	
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○What is Spot? を読む。 ○Where is Spot? を読む ○教師による Input ①部屋の絵を...グループに一枚配り、子どもは文房具等の絵を切り取る ②教師が言う There's a key in the box. 等の英語の通りに、部屋の絵に、切り取った絵を置き、切り込みには子どもも Output (上と同じ教材を使用) ①子どもは自由に文房具などの絵を部屋の絵の上に置く。 ②教師は絵について何人かの子どもに、Where's your pencil? 等と質問する。key, purse 等新しい単語を入れ練習する。 ③子どもは It's on the desk. 等と答える。 ④子どもがグループで練習する。 ○どこにありますか? 子どもはグループになり、部屋にありそうなものを、お互いに聞かあて。どこに何が置いてあるかメッセして、グループの中で傾向を調べる。	○たくさんの英語を聞かせて、語順に自然となじませる。 ○your を意識させる。 ☆ALT とモデルを行うとよい。 ○子どもは自分の部屋だと想定して答える。絵は使用しない。 ○Where's your ~?の意訳がわかかって質疑応答がでる。			
導入 10分	○どこにありますか? 子どもはグループになり、部屋にありそうなものを、お互いに聞かあて。どこに何が置いてあるかメッセして、グループの中で傾向を調べる。 ○振り返り H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.				
活動 12分	○あてっこゲーム (グループ対抗) ①代表者二人がお互いに背を向ける (それぞれの前には机を置く。 ②ひとりか文房具を机の in, on, under, behind のいずれかに置き、Where is my ~?と質問する。 ③もう一人は、はそれを予想して It's on the desk. 等と答える。合っていたら1点。 ○振り返り H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.				
振り返り 3分	○振り返り H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.				

4年 Lesson 3 どこにありますか (4/4)			
単元の目標	英語を使って物が置いてある場所を質問したり答えたりする活動を通して、英語と日本語では物が置かれている場所の及し方の違いがあることに気付く、物が置かれている場所を尋ねたり答えたりする表現の技能を身に付け、英語で友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。		
本時の目標	Where's your ~? It's in (on, under, behind) key, purse, desk, chair, bed, window, curtain. 文が長(既習)		
準備	デジタル教材、絵本、 部屋の絵		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(★) 留意点(○)	評価 (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と数字 ○Where is Spot? を読む		
導入 10分	○宝探しゲーム(文字練習を含む) ①in, on, under, behind の文字を見て場所を示す練習をする。 ②隠すものを文字付きの絵カードで練習する。(文字を見て、絵にタッチする等) ③Where's ~? の言い方を復習する。 ④It's in (on, under, behind) the ~ の練習 It's on Akira's desk. It's behind the blackboard. It's in the teacher's desk. 等可能態のある文の練習をする。	○宝探しは準備の時間が必要とするので、3時間目の内容を2時間をかけて行ってもよい。 ○時間のあるときに宝探しを行ってもよい。	
活動 5分	○宝探しゲーム 準備 別紙参照		
活動 22分	○宝探しゲーム 活動		
振り返り 3分	○振り返り ○授業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 4 学校の中を案内しよう (1/4)			
単元の目標	英語を使って学校の中を案内する活動を通して、教室の言い方を学習し、案内をするときに使う簡単な表現を身につける。		
本時の目標	語彙・表現 library, restroom, teachers' room, science room, nurse's office, gym, playground, English room		
準備	デジタル教材、学校の見取り図を拡大して使う 学校絵カード小(④と共通)、おはじきビンゴカード 学校フラッシュカード		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(★) 留意点(○)	評価 (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字 ○私たちの学校 学校の見取り図を作り、それぞれ何の教室かを子どもに尋ねる。(それぞれの教室はカードにして裏返しに貼っておく) T: This is our school. It's on the first floor. What room is this? C: (It's the teachers' room.) T: Yes. It's on the second floor. T: What room is this? C: (理科室) T: Yes. It's the science room. It's on the third room. 等のように教師は導入する。 ○おはじきビンゴゲーム(絵に5つのおはじきなどを置いて、教師が読み上げたものからおはじきを取っていく)	○ALT がいるときににちの言い方を徐々に学ぶ。 ○学校見取り図を拡大したものを黒板に貼って使う。 ○()は子どもが答えるが、日本語で答えてもいい。そのあとで、教師が英語にして導入してもよい	
活動 10分	○おはじきビンゴゲーム(絵に5つのおはじきなどを置いて、教師が読み上げたものからおはじきを取っていく) library, restroom, teachers' room, science room, nurse's room, gym, playground, English room		
活動 12分	○どの教室? ①黒板に貼られた裏返しの教室カードをグループで相談して、何の教室かをあてる。 ②教師が質問 What room is this? *ヒントを出す(別紙参照) ③子どもが答える。 ④教師が質問。 ⑤子どもが答える。 It's a library. What floor? It's on the second floor.	○教師がヒントを出し子どもは教室の名前をあてる。 ○できるようなら子どもにヒントをださせてもよい。 ○隣の答え方も教師が助ける。	
振り返り 3分	○振り返り ○授業のあいさつ H: That's all for today. H (A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 4 学校の中を案内しよう (2/4)			
単元の目標	英語を使って学校の中を案内する活動を通して、教室の言い方を学習し、案内をするときに使う簡単な表現を身につける。		
本時の目標		語彙・表現	
グループで案内の仕方を練習する。		Excuse me. Where's the ~? I'll show you. Go upstairs. Turn right. Turn left. It's on the first (second, third) floor. Here. This is ~. library, restroom, teachers' room, science room, nurse's office, gym, playground English room	
準備	デジタル教材、学校絵カード		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価 (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	○ALT がいるときに目にちの言い方を徐々に学ぶ。	
導入 10分	○MOVIE 学校の中を案内する。		
活動 10分	○教師が Excuse me. Where's the teachers' room? と聞いて子どもは何と言ったか考え、I'll show you. This way. It's on the first (second, third) floor. 等の表現をだんだん学習していく。2, 3 の例を行う。		
活動 12分	○一緒に歩きながら案内しよう。 (教室の机を移動して、学校施設の絵カードを置く。学校の階を意識して置き場所を考えると良い) ①教師がデモンストレーションを行う。 ②ペアになり、案内ごっこを行う。 A: Excuse me B: Yes. A: Where's the gym? B: It's on the first floor. I'll show you. A: Thank you. B: This way. (案内途中で自己紹介などしてもよい) Here. This is a gym. A: Thank you. B: You're welcome.	○教師と ALT または代表生徒でモデルを行う。 ○海外からのお客を案内するつもりで練習しておきたい。教室はきりぎりしで練習しよう。	◇積極的に活動に参加している。
振り返り 3分	○振り返り H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 4 学校の中を案内しよう (3/4)			
単元の目標	英語を使って学校の中を案内する活動を通して、教室の言い方を学習し、案内をするときに使う簡単な表現を身につける。		
本時の目標		語彙・表現	
方向などを使って学校の中を案内する。		Let's go together. Go upstairs. Go straight. Turn right. Turn left. It's on the right (left).	
準備	デジタル教材、迷路シート、学校の見取り図(データ印刷)		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価 (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字 ○Simon Says ゲーム 教師が Simon Says "Turn left." と言った時は、左を向く。"Turn left." と言ったときは、左を向かない。Simon Says "Go straight."、1, 2 歩進む。 It's on the right. といった右手をあげて視線を向ける。 ○先生を誘導 教師が目隠しをし "I want to go to ~. I need ~." 等と言う。子どもたちは全員で、Go straight. Turn right(left) It's on the left. 等といひながら教師を英語で誘導する。	○ALT がいるときに目にちの言い方を徐々に学ぶ。 ○最初に4つのパターンを確認することも必要。	
活動 10分	○迷路を作ったどろろペアで行う。 別紙参照①		◇協力して方向を示す表現を使い、活動している。
活動 12分	○案内しよう 学校の見取り図 1 階を使い、Go straight. Turn right(left) It's on the right(left)の表現を使って案内する練習をする。 ○振り返り H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		◇協力して方向を示す表現をつかい、活動している。

4年Lesson 4 学校の中を案内しよう (4/4)			
単元の目標	英語を使って学校の中を案内する活動を通して、教室の言い方を学習し、案内をするときに使う簡単な表現を身につける。		
	本時の目標		
方向などを言って案内し、目的地に導く。 Go straight. Turn right. Turn left. It's on the right (left).		語彙・表現	
準備	デジタル教材、学校案内用シート(印刷文字付き)		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価 (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	○ALT がいるときに目にちの言い方を徐々に学ぶ。	
導入 10分	○学校の見取り図を使って、道案内の表現を復習する ○道案内をしよう。(学校案内用シート(表裏どちらを使ってもよい)にしたがって机とカードをセットする。) ① 机をセットする。(別紙参照) ② 教師が子どもを使って、モデルを見せる。 ③ 子どもが二人でモデルを見せる。	○次の活動のためのモデルを見せる。	
活動 12分	○道案内をしよう 子どもがペアになって道案内を行う。 Where's the library? Go straight. Turn right. Turn left. It's on the right (left).		◇道案内の言い方に慣れ、積極的に活動していき
活動 10分	*文字を先に練習して、上記「道案内をしよう」に文字カードを使用してもよい。		
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

4年Lesson 5 注文しよう (1/4)			
単元の目標	英語を使って買い物をする活動を通して、円やドルの違いに気づき、買い物をするときに使う表現の技能を身につけ、英語で友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。		
	本時の目標		
代表的なファーストフードを表す英語を知る。 hamburger, French fries, pancakes, salad, pie, cola, tea, orange juice, milk, fried chicken		語彙・表現	
準備	デジタル教材、ペン型用食べ物カード		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価 (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字		
導入 10分	○MOVIE① ファーストフードでの注文の様子を見る。 * Let's Chant の前で行ったん止める。	○チャントの練習が MOVIE の最後にあるが、いったん前で止めて、メニューを子どもにも聞い	
活動 10分	○ファーストフードのメニューを子どもにも聞く。 ○MOVIE チャントで練習する。(MOVIE のなかにある)		
活動 12分	○カードゲーム ①4人のグループを作る。 ②カードをすべて表向きにランダムに並べる。 ③教師が、Tea, please. など言う。子どもは milk please 等のの上に指を一本置く。さらに、教師は milk please 等と指を一本置く。 ④次々と英語を言い、一番長く指を置けた子どもが、今度は教師の代わりに英語を言う。他の3人の子どもは指を置く。 ⑤英語を言う子どもを替えて行うが、一回英語を言い終わって置けた子どもは、再び親指を使えない等のルールで再び仲間に入る。	○1グループにカードを1枚ずつ10枚配布する ○あいこのときはじゃんけんを決める。	
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 5 注文しよう (2/4)			
単元の目標	英語を使って買い物をする活動を通して、円やドルの違いに気付き、買い物をするときに使う表現の技能を身に付け、英語で友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。		
	本時の目標		語彙・表現
	ドルを中心に海外の通貨について知る。		dollar(s), cent 数字 (既習)
準備	デジタル教材	おもちゃのお金 あれば箱か袋を用意	
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価 (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	○Welcome to 再びアスタフトフードでの注文の様子を見て、お金の言い方 に注目	
導入 10分	○MOVIE① お金について注目 ○お金 (ドルとセント) について学習 ①お金の言い方を学習 \$12.76 (twelve seventy-six) \$ 3.55 (three fifty-five) \$ 8.50 (eight fifty) \$ 20.30 (twenty thirty) ②ドルの言い方を練習 3 dollars 7 dollars 10 dollars 12 dollars	○セントの言い方 にも触れるが、難しい ので、最終的には ドルの言い方でよ い。 ○ドルの発音に注 意する。	
活動 10分	○お金を教えよう グループごとにおもちゃのお金をランダムに配り、全部 でいくらかを教えて答える。 ○ 一番のお金持ちは誰? おもちゃのお金を袋 (箱) に入れておき、つかみ取りを する。みんなでお金を出して、一番金額の大きい人が勝ち。(赤 い印がついたお金またはお宝はマイナスされる)などのア クティビティを加えてもよい)	○子どもの様子を 見てドルだけの言 い方にする。	
活動 12分			
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 5 注文しよう (3/4)			
単元の目標	英語を使って買い物をする活動を通して、円やドルの違いに気付き、買い物をするときに使う表現の技能を身に付け、英語で友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。		
	本時の目標		語彙・表現
	フランスフード店で注文をする。		Welcome to MacDonald. For here or to go? For here(To go) please. Large or small? Large(Small) please. ~ dollars. Thank you, bye. hamburger, French fries, pancakes, salad, pie, cola, tea, orange juice, milk, fried chicken
準備	デジタル教材	注文の順番を描いた絵	
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価 (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字 ○MOVIE① 同じものをもつ、変換。 どんな内容で、どんな英語を話しているかをしらべたり聞き 取る。	○Welcome to MacDonald を言 うのは難しいので 子どもは挨拶でよ い。Hello, Hi ○可能なら、補助を 頼んで、店員の英語 を言ってもらい、子 どもは注文専門に するとよい。 ○ 絵を参考にし ながら、英語を言 う ＊聞き返すときは、 Sorry? or Pardon? 確認するときは相 手の言ったことを 繰り返して) ~ right?と言っても よい。 ○ How much? と 聞くことはあまり ない。 ☆教師はアスタフト スする。	
導入 10分	○練習 教師の後を繰り返して、注文の仕方を練習する。 教師は手がかかりとなる絵を見せながら行う。 ALTに店員役をお願いし、教師とALTそれぞれ後に 子どもが単語を繰り返すと流れがつかめる。役割は反対 でもよい。 店: Hi! For here or to go? 客: For here. One coke, please. 店: Large or small? 客: Small, please. And one hamburger, please. 店: OK. \$ 6 客: Here you are. (Thank you. OK)等いずれでもよい。 役割を役立てて練習する。 French fries の注文をする場合は、L or Sが必要		
活動 10分			
活動 12分	○グループ練習 ＊手がかかりとなる絵をわたす。(絵を見て、英文を思い出 す) ○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 5 注文しよう (4/4)			
単元の目標	英語を使って買い物をする活動を通して、出やドルの使い分け、英語で友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	単元の目標	得意技を披露しながら英語を使ってできるかできないかを尋ねる活動を通して、英語や人に近いことがあることに気付いたり、自分ができること、できないことを積極的に話したりすること、人とのコミュニケーションを図ろうとする。
本時の目標	Welcome to MacDonald. For here or to go? For here(to go) please. Large or small? Large(Small) please. ~dollars. Thank you, bye. hamburger, French fries, pancakes, salad, pie, cola, tea, orange juice, milk, fried chicken	本時の目標	得意技を披露しながら相手に行うことができるかを質問したり、答えたりする。
準備	デジタル教材、食べ物カード 飲み物カード お金 文字カード	準備	絵本、デジタル教材、えいごリアン
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価 (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you,) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字		
活動 15分	○ 前時の英語を2、3回練習 ○ アスタフトカードで注文ごっこ 手がかりとなる絵をわたしてもよい。 好きな食べ物、飲みものを買う。 店: Hi! For here or to go? 客: For here. One coke, please. 店: Large or small? 客: Small, please. And one hamburger, please. 店: OK. \$ 6.80. 客: Thank you. ○文字学習		◇アスタフトカードで簡単で簡単な英語を使って買い物をすることができ る。
活動 5分	hamburger, French fries, pancakes, salad, pie, cola, tea, orange juice, milk, fried chicken 等の文字を確認する。		
活動 12分	○文字を使ったカードゲーム 2人でペアを組んで3、4組のグループを作り、上記の文字カードを同じものを2枚ずつ配布し、裏返して置き、神経衰弱をする。カードを裏に返したときにカードの英語を言う。	○ペアでそれぞれ一枚ずつカードを表向きにし、英語を言う。相談してもよい。	
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 6 これってできる? (1/4)			
単元の目標	得意技を披露しながら英語を使ってできるかできないかを尋ねる活動を通して、英語や人に近いことがあることに気付いたり、自分ができること、できないことを積極的に話したりすること、人とのコミュニケーションを図ろうとする。	単元の目標	得意技を披露しながら相手に行うことができるかを質問したり、答えたりする。
本時の目標	Can you do this? Yes, I can. No, I can't.	本時の目標	得意技を披露しながら相手に行うことができるかを質問したり、答えたりする。
準備	絵本、デジタル教材、えいごリアン	準備	絵本、デジタル教材、えいごリアン
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価 (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you,) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字 ○From Head to Toe を読む		
導入 10分	○えいごリアンを視聴。 3④1「みんなの得意技」		
活動 7分	○MOVIE④で復習 Can you do this? Yes, I can. No, I can't. 上記の表現の口ならしをする。 *I can play こんなことできるよ の前で止める。		◇ピアノを弾けるか、英語を話せるか等の能力を Can you ~? で質問することには失礼になるので練習も控えたほうがよい。 ○得意技に関するやりとりはよく耳にする。
活動 15分	○Can you do this? 子どもが自分の特技を披露しながら Can you do this? と質問する。他の子どもは Yes, I can. No, I can't で答える。		○簡単なことではないから実際にやってみる(声で鼻をなめる、背中を手を合わせる等)
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 6 これってできる? (2/4)			
単元の目標	得意技を披露しながら英語を使ってできるかできないかをめぐる活動を通して、言語や人に遠いがあることに気付いたり、自分ができると、できないことを積極的に話したりすること、人とのコミュニケーションを図ろうとする。		
準備	絵本、デジタル教材、絵カード、ビンゴシート	言葉・表現	I can cook (curry and rice), run fast, play tennis, (baseball, badminton, soccer) play the piano(guitar) Oh, can you? Really?
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(★) 留意点(○)	評価 (◇)
Warm up 10分	CT: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と数字 ○From Head to Toe を読む		
導入 10分	○MOVIE② I can play 4つの I can ~, を聞く	○疑問文の学習は遅けるが、平叙文はしっかり練習する。 ○文字なしで、音をしっかり練習する。 ○I can run, 等の文には fast などをつけない。意味がない。	
活動 10分	OPWP (クリックで送る) 語彙練習 I can cook (curry). I can run fast. I can play baseball, (badminton, soccer) I can play the piano(guitar, recorder)well. Oh, can you? Really?		
活動 12分	○ビンゴゲーム 子どもはビンゴシート(文字付き) のなかから4,5枚の絵を選んで、文房具を置いておく。教師が言った文の文房具を取っていき、すべてとついたらあがりとする。慣れたら子どもが文を言い、教師は Oh Can you? 等と子どもに応答表現を聞かせておくことよ。	○英語を聞くだけでなく応答練習もする。 ○ビンゴシートに消しゴムなどを置く。	
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 6 これってできる? (3/4)			
単元の目標	得意技を披露しながら英語を使ってできるかできないかをめぐる活動を通して、言語や人に遠いがあることに気付いたり、自分ができると、できないことを積極的に話したりすること、人とのコミュニケーションを図ろうとする。		
準備	絵本、デジタル教材、ペンギン、サル、カンガルー、レッサーパンダの絵、FALSE カード 文字カード	言葉・表現	I can swim, I can't swim, cook (curry and rice), run fast, play tennis, (baseball, badminton, soccer) play the piano(guitar)
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(★) 留意点(○)	評価 (◇)
Warm up 10分	○F: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と数字 ○From Head to Toe を読む ○私はペンギンです 先生が動物になり、できることとできないことを紹介する。(カードを顔の前に持って言う) "Now I am a penguin. I can swim but I can't fly." "I am a monkey. I can climb trees but I can't fly."	○ALT がいるときに目にちの言い方を徐々に学ぶ。	
導入 5分	○動物×クイズ (先生がある動物になる) T: Now I am a kangaroo. I can jump very well. [TRUE]のカードを挙げる。 T: I am a lesser panda. I can't climb a tree. [FALSE]のカードを挙げる(手で○×をつくる) ○動物当てクイズ A: What animal am I? I can jump. I can swim. I can't fly. B: Frog. A: That's right. / No, sorry.	○英語の理解を促すため、2回目はジェスチャーを入れて、can, can't の意味や動作の理解をさせる。	◇できる、できない、を表す英語表現を聞いて意味がわかる。
活動 10分	○自分ができることと、できないこと 教師の手本 I can't play baseball, but I can play tennis well. I can't cook omelet well, but I can cook curry and rice well. I can't draw pictures well but I can play the guitar. I can't swim, but I can run fast. 等目ならしの練習を少し行う。	○教師が手本を示す。 ○できないことを話してから、できることを話す。	
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.	○子どもが自分のことで練習する。	

4年 Lesson 6 これってできる？ (4/4)		
単元目標	得意技を披露しながら英語を使ってできるかを尋ねる活動を通して、言語や人に逆いがあることに気付いたり、自分ができていること、できないことを積極的に話したりすることで、人とのコミュニケーションを図ろうとする。	
本時の目標	<p>得意・表現</p> <p>I can't swim, but I can play tennis. cook (curry and rice), run fast play tennis (baseball, badminton, soccer) play the piano(guitar)</p>	
準備	絵本、デジタル教材、ワークシート	
学習過程	<p>教師の支援(☆)</p> <p>留意点(○)</p> <p>評価(◇)</p>	
Warm up 10分	<p>○T: Hi, class! C: Hi, ~先生!</p> <p>T: How're you doing? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you.</p> <p>○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○首と文字</p> <p>○MOVIE① What's wrong? I have a cold. I have a fever. I have a headache. I have a toothache. の表現を練習する。 MOVIE を止めながら十分に練習する。</p>	<p>○ALT がいるとき 目にちの言い方を徐々に学ぶ。</p>
導入 5分	<p>○できることとできないことを友達に話す 教師がデモンストラーションを行う。</p> <p>T1: I can't cook omelet but I can cook curry and rice well. T2: Oh can you? (Oh really?) Nice. (Sounds good. Cool)</p>	<p>○ALT とともに 手本を見せられるとよい。子ども2, 3人でも良い。</p>
活動 12分	<p>○できることとできないことを友達に話そう 上記の会話をや、またはグループで練習してから、クラス全体で行う。</p>	<p>◇できることとできないことを友達に伝える。 ◇相手の語を聞き、応答できる。</p>
活動 15分	<p>○文字活動 cook, run, swim, play(tennis, baseball) play the (piano, guitar)等の文字入り絵カードを黒板に貼り確認する。</p> <p>① グループごとに文字カードを配る。 ② 教師が文字カードを読み、子どもが取る。</p> <p>○文字カードを使った他の活動 子どもが交代でジェスチャーをし、他の子はジェスチャーに反応する文字カードを発音しながら取る。</p>	<p>◇文字を見て発音できる。又字を見て意味がわかる。</p>
振り返り 3分	<p>○振り返り H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.</p>	

4年 Lesson 7 どうしたのですか (1/4)		
単元目標	具合が悪そうな人にどうしたのかと話しかける。どこ具合が悪いのか伝える。	
本時の目標	<p>得意・表現</p> <p>What's wrong? I have a cold (fever, headache, toothache.) Help me. blanket, medicine, ice pack</p>	
準備	デジタル教材、えいごリアン、フラッシュカード (毛布、アイスバック、薬のカード)。	
学習過程	<p>活動内容(○)</p> <p>教師の支援(☆)</p> <p>留意点(○)</p> <p>評価(◇)</p>	
Warm up 10分	<p>○T: Hi, class! C: Hi, ~先生!</p> <p>T: How're you doing? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you.</p> <p>○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○首と文字</p> <p>○MOVIE① What's wrong? I have a cold. I have a fever. I have a headache. I have a toothache. の表現を練習する。 MOVIE を止めながら十分に練習する。</p>	<p>○ALT がいるとき 目にちの言い方を徐々に学ぶ。</p>
導入 10分	<p>○さらなる表現を見る。 Here is a blanket (an icepack, a medicine) MOVIE を見ながら一緒にやってみる。</p> <p>○教師と練習</p> <p>①子どもが「Here is a cold」と言うと、 教師は「Here is a blanket」と言う。 子どもが「I have a fever」と言うと、 教師が「Here is an ice pack」と言う活動を練習する。</p> <p>②教師と子どもの役割を交代する。 教師が「Here is a cold」等と言って 子どもが「Here is a blanket」を見せる。 子どもが「Here is an ice pack」と言う。</p> <p>子どもの役割を交代して行う。</p>	<p>◇表現を覚えて言うことができる。</p> <p>○絵カードを用意し、手帳に添しながら活動を行う。</p> <p>○教師が手助けしながらだんだん伝えるようになっていく。</p>
活動 10分	<p>○振り返り H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.</p>	

4年 Lesson 7 どうしたのですか (2/4)			
単元の目標	具合が悪そうな人にどうしたのかと話しかける。 どの具合が悪いか伝える。		
本時の目標	言葉・表現 My toe (leg, knee, finger) hurts. Are you OK? Take care.		
準備	デジタル教材、フラッシュカード		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価 (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	○ALT がいるときに日にちの言い方を徐々に学ぶ。	
導入 10分	○MOVIE② * 先週の MOVIE も復習のために見せるとよい。 ①My elbow (knee, finger, foot, toe) hurts. 等の表現を聞きながら練習する。 ②Touching Game ③表現の練習	○hand, foot, なども教えてもよい。	
活動 10分	○教師と練習 痛いよ! ゲーム ①教師が My knee hurts. と言うと 子どもは knee をさわたり、痛そうな顔をする。 ②教師が knee を強ると、子どもが自分の knee を触り My knee hurts. と言う。 子ども同士で行ってもよい。	○活動の種類を意識する。 ①聞く活動 ②話す活動	◇痛い場所についてでの言い方がわかっている。
活動 12分	○伝言ゲーム ①子どもは、5, 6人で一列ずつに並ぶ。 ②最初の子どもは絵カードを見て文を後ろに伝えていく。 ③最後の子どもは伝えられた文のカードを選ぶ。		
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 7 どうしたのですか (3/4)			
単元の目標	具合が悪そうな人にどうしたのかと話しかける。 どの具合が悪いか伝える。		
本時の目標	言葉・表現 I have a ~. My ~ hurts. Here is a ~. Take care.		
準備	デジタル教材、小絵カードまたは実物 (毛布、薬、アイスパック等)		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価 (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	○ALT がいるときに日にちの言い方を徐々に学ぶ。	
導入 10分	○MOVIE③ (スキットのモデル) ○表現の練習 ①役割分担して練習 (A と B を交代しながら練習) ②__の部分を空で練習する。 A: What's wrong? B: I have a fever. A: Are you OK? Here is a blanket. B: Thank you. A: Take care. (Go to hospital.)	○初めは~先生と子どもで両方の役を変えて練習。次にクラスを半分にわけ、A 対 B で子どもたちだけで練習。 My ~ hurts. 等の文を使ってもよい	
活動 7分	○スキットづくり 下線の部分をそれぞれ考えて練習後、次回発表する準備をする。 *(基本の会話部分を必ず入れるが、グループで会話できるように既習の表現をプラスしても良い)	○演技力と小道具を使用して、出来るだけリアルになるようにする。	◇協力して、スキット作りに積極的に取り組んでいる。
活動 15分	○練習 スキットができたグループは練習する。		◇協力して、スキットの練習に積極的に取り組んでいる。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 7 どうしたのですか (4/4)		
単元の目標	具合が悪そうな人にどうしたのかと話しかける。 どこの具合が悪いか伝える。	
本時の目標	語彙・表現	
体の具合を質問したり、答えたりするスキットを発表する。 What's wrong? I have a~. My ~ hurts. Are you OK? Here is a~. Take care.		
準備	デジタル教材、文字カード	
学習過程	教師の支援(☆) 留意点(○)	
Warm up 10分	活動内容(○) ○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字 ○表現の復習。 A: What's wrong? B: I have a fever. A: Are you OK? Here is a blanket. B: Thank you. A: Take care. ○スキット発表。 グループごとに、スキットをする。	評価(◇)
導入 3分	○ALT がいるとき 目ににちの言い方を 徐々に学ぶ。	
活動 17分	○スキット発表 演技で表現し、小道具を使い、出来るだけリアルになるようにする。 ○スキットごとに、スキットをする。 自分たちのスキットの内容を表すカードを選び、タイトルとして見せる。 I have a cold. I have a fever. I have a headache. My knee hurts. My finger hurts. My toe hurts. ○文字活動 時間があれば 基衣表現を基衣活動代表のペアが出て、スキットをする。それぞれのペアの内容に合う文字カードを選ぶ。 I have a cold. I have a fever. I have a headache. My knee hurts. My finger hurts. My toe hurts.	◇スキットの発 表に積極的に 取り組んでい る。 ◇文字を識別 できる
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.	

4年 Lesson 8 コンビニの数をしらべてみよう (1/4)		
単元の目標	コンビニエンスストアや郵便局、交番などの建物の言い方と、それらがどのくらい存在しているか、自分の小学校と自分の住んでいる地域を比べて、社会科と関連した調べ学習を行う。	
本時の目標	語彙・表現	
町のなかにある様々な建物の言い方に興味をもつ。 school, convenience store, post office, police box, station, bookstore, restaurant, bank, park, hospital, flower shop, 既習の語 factory, tower 等		
準備	デジタル教材、2年で使ったもの、建物カード (単板用、手紙用サイズ)	
学習過程	教師の支援(☆) 留意点(○)	
Warm up 10分	活動内容(○) ○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字 ○MOVIE or PWP ① 自然と自分の町 (2年復習) 2年生で既習の factory, tower, shrine などの単語を復習した後、できれば自分たちの町の拡大図をフォードカスし、建物のようすを見せ、どんなものがあるかを確認して英語の表現へと移す。 ○建物の絵カードを見せ何の建物 (場所) か、おね、児童は日本語 (か英語) で教師の間に答える。 T: What's this? C: School. T: Yes, that's right. It's a school. ○Finger Twister Game ①ペアになり、11枚の建物カードを机に並べる。 ②教師が建物の名前を言う。 ③児童は違う指で言われたカードを押さえる。先に見つけ押さえた方が指を蹴ける。指はカードに置いたままで行う。 ④教師がまた違う建物の名前を言う。 ⑤児童は違う指で言われたカードを押さえる。 *これを繰り返すし、指をたくさん置いた人の勝ち。	評価(◇)
導入 10分	○ALT がいるとき 目ににちの言い方を 徐々に学ぶ。 ○MOVIE を見 ながら単語を言 つていく。 カタカナと英語 の言い方の違い に気づかせる。	
活動 10分	指を置いた後、見 常みなどで復習 すると効果があ がる。 ①児童は違う指で言われたカードを押さえる。先に見つけ押さえた方が指を蹴ける。指はカードに置いたままで行う。 ②教師がまた違う建物の名前を言う。 ③児童は違う指で言われたカードを押さえる。 *これを繰り返すし、指をたくさん置いた人の勝ち。 ○Missing Game ①建物カードを5枚選び、黒板に貼る。 ②児童に5枚を覚えてもらう。 ③Close your eyes. (Put your head down.)と言って、目をつぶらせる。(後ろを向かせてもよい) ④教師はカードの場所を並べ替え、さらに1枚除く。 ⑤Now, look at the blackboard. What's missing?と問いかける。*カードは適宜、入れ替えていく。 ○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.	◇積極的な態 度、関心
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.	

4年 Lesson 8 コンビニの数をしらべてみよう(2/4)			
単元の目標	本時の目標	高彙・表現	
コンビニエンスストアや郵便局、交番などの建物の言い方と、それらがどのくらい点在しているか、自分のお学校と自分の住んでいる地域を比べて、社会科と関連した調べ学習を行う。	コンビニエンスストアや病院などがいくつあるか、お互いに尋ね合いながら調べる。	How many convenience stores(are there)? Well, let's count! school, convenience store, post office, police box, station, bookstore, restaurant, bank, park, hospital, flower shop 既習の語 factory, tower 等	
準備	デジタル教材、インターネットが使用できる部屋か、iPad を使用、フラッシュカード		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価 (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	○ALT がいるときに目にちの言い方を徐々に学ぶ。	
導入 7分	○復習 ①建物の言い方を練習 ②本時に調べる建物の個数を尋ね方を練習 A: How many convenience stores (are there)? B: Well, let's count! 下線の部分を適宜入れ替えて、確認をする。	○How many の後の言葉は複数で言うよう心掛ける。 * 複数形のカードを使う ○ are there は省略してよい。	
準備・移動 5分	○インターネットが利用できる教室へ移動 または、iPad の準備。		
活動 20分	○地域ごとに分かれて練習 A: How many convenience stores (are there)? B: Well, let's count! の表現を言いながら調べ、記録をとっておく。	○調べたい建物をあらかじめ選んでおくことよ。 ○グループで調べた人と、記録する人を分担してもよい。	◇建物の言い方と個数を尋ねることができる。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 8 コンビニの数をしらべてみよう (3/4)			
単元の目標	本時の目標	高彙・表現	
コンビニエンスストアや郵便局、交番などの建物の言い方と、それらがどのくらい点在しているか、自分のお学校と自分の住んでいる地域を比べて、社会科と関連した調べ学習を行う。	コンビニエンスストアや病院などがいくつあるか、お互いにたずね、それについて返答する。	How many schools (are there) in Kitaku? Five, school, convenience store, post office, police box, station, bookstore, restaurant, bank, park, hospital, flower shop 既習の語 factory, tower 等	
準備	デジタル教材、同時に調べた建物の数の書いたメモ、市内の略図の拡大版 (各附属用意)、数を示すための小さなシール (各附属用意)		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価 (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	○ALT がいるときに目にちの言い方を徐々に学ぶ。	
導入 15分	○表現の確認。 A: How many convenience stores (are there) in Kitaku? B: Five. (Five convenience stores.) ほかの建物、数字も入れて言う。	○How many の後の言葉は複数で言うよう心掛ける。	
活動 17分	○地図作成 A: How many convenience stores in Kitaku? と問いか、 B: Five! (convenience stores.) と答えて、地図にシールを貼って貼っていく。	○シールを貼ることに集中しすぎて、英語を口にするのを忘れないよう、適宜、注意を促す。	◇興味をもつて地域の建物の数を調べ、まとめることを、英語を表現しながら作業している。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 8 コンビニの数をしらべてみよう (4/4)			
単元の目標	本時の目標	語彙・表現	
コンビニエンスストアや郵便局、交番などの建物の言い方と、それらがどのくらい点在しているか、自分の小学校と自分の住んでいる地域を比べて、社会科と関連した調べ学習を行う。	この単元で調べた結果について、地図を用いて Show three police boxes and two hospitals in <i>Kita-ku</i> school, convenience store, post office, police box, station, bookstore, restaurant, bank, park, hospital, flower shop, 既習の語彙, tower 等を Tell をする。		
準備	デジタル教材, 作成済みの地図		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価 (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	○ALT がいるときに目にちの言い方を徐々に学ぶ。	
導入 12分	○表現を練習 ①教師のデモンストラーション Look at this. There're five convenience stores, three police boxes and two hospitals in <i>Kita-ku</i> . (地図を指し示しながら) ②教師と一緒に言い方を確認し、何例かを練習する。 ③同じ地域ごとに分かれて言い方の練習をする。	○ALT がいる場合は、ALTがお手本を見せる。	
活動 20分	○発表 ①思案中に地図を指し地域に分かれて発表する。 ②発表の後、地域ごとに建物の個数がどう違うか比べ、それについて感想を述べる。	○調べたことからどんなことがわかるか導く。	◇クラスメートに向けて積極的に発表する態度ができてくる。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 9 アフレコスキット (1/3)			
単元の目標	本時の目標	語彙・表現	
既習の英語を使って学校や家庭生活の中でよく見られる場面を演じる活動を通して、日本語と英語の違いに気づき、既習事項を定着させ、英語で友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	既習の表現をスキットにしたものを見て、復習する。 デジタル教材,	What's this(that)? It's a ~. Do you like ~? Yes, I do. No, I don't. Let's ~. Sure(sounds good). Sorry.	
準備	デジタル教材,		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価 (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	○ALT がいるときに目にちの言い方を徐々に学ぶ。 ☆子どもたちが既習の文を思い出すようにヒントを与える。	
導入 10分	○3年の復習 3年で学習した表現の復習 テキスト、カード、教師と ALT の実演などによって学習した英語を思い出す。		
練習と活動 22分	○PWP ①PWPを見て、なんと言っているか考える。 ②答えを確認して、練習する。 What's this(that)? It's ~. Do you like ~? Yes, I do. No, I don't. Let's ~. Sure (Sounds good.) Sorry. ○アフレコしよう PWPの絵にあわせて、発表する。		◇友達の発表を聞こうとしている。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 9 アフレコスキット (2/3)			
単元の目標	既習の英語を使って学校や家庭生活の中でよく見られる場面を演じる活動を通して、日本語と英語の違いに気づき、既習事項を定着させ、英語で友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。		
準備	デジタル教材、	授業・表現	
学習過程	本時の目標	I can play ~. Oh, really. Nice. Who is the ~? Go straight and turn right(left). What's wrong? I have a headache. Who is this girl (boy)? She (He) is ~.	
準備	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価 (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	○ALT がいるときに日にちの言い方を徐々に学ぶ。	
導入 10分	○4年の復習 4年で学習した表現の復習 テキスト、カード、教師とALTの支援などによって学習した英語を思い出す。	☆手本を見せる。	◇友達と協力して考えている。
練習と活動 22分	○PWP② ①今まで学習した英語表現を状況に合わせて考える。 ②ペアで、セリアを練習する。 I can play ~. Oh, really. Nice. What's wrong? I have a headache(cold, fever etc.) Who is the ~? Go straight. Turn right(left) Who is this girl (boy)? She (He) is ~. ○アフレコしよう PWPの絵にあわせて、発表する。		◇友達と協力して発表している。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

4年 Lesson 9 アフレコスキット (3/3)			
単元の目標	既習の英語を使って学校や家庭生活の中でよく見られる場面を演じる活動を通して、日本語と英語の違いに気づき、既習事項を定着させ、英語で友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。		
準備	デジタル教材、	授業・表現	
学習過程	本時の目標	Excuse me, is this your pencil case? No, it's Erika's. Oh, it's mine. Thank you. Thank you. You're welcome. Hello. Welcome to Macdonald. For here or to go. For here. One coke please. Large or small. Small please. And one hamburger. OK. Five dollars. Thank you.	
準備	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価 (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! T: How're you doing? C: Hi, ~先生! C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	○ALT がいるときに日にちの言い方を徐々に学ぶ。	
導入 10分	○MOVIE③ 3,4年で学習した表現を使って、動画にアフレコする。 まず、動画をみて復習する。 ① Excuse me, is this your pencil case? No, it's Erika's. Oh, it's mine. Thank you. Thank you. You're welcome. ② Welcome to Macdonald. For here or to go. For here. One coke please. Large or small. Small please. And one hamburger. OK. Five dollars. Thank you.	☆手本を見せる。	
練習と活動 22分	○練習しよう I ①最初の動画をよく見て3人組で練習する。 ②3人組で動画にあわせて練習する。 ③代表の教組が前に出て発表する。 ○練習しよう II ①2番目の動画を良く見てペアで練習する。 ②動画にあわせて練習する。 ③代表のペアが前に出て発表する。 * 音調は、品物、値段などが違っても良い。	○マクドナルドはあいさつ、品物の種類、値段などは違っている。画面に合っていることがたいせつ。	◇友達と協力して発表している。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you ~先生. Thank you ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

(5) 5年生指導案

5年 Lesson 1 今何しているの (1/4)			
単元の目標	本時の目標	本時で扱う主な言葉・表現	
第三者がしていることを尋ね合う活動を通して、動きを表す言葉の変化の仕方に気づき、していることを尋ねたり答えたりする表現の技能を身に付け、英語で友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	人がどんな服装をしているか聞いて理解できる。	He (She) is wearing ~, blue T-shirt, brown pants, blouse, sweater, skirt	
準備	総、デジタル教材、カルタ		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, how are you? T: How's it going?? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	○ALTは How are you?以外に、How're you doing? How's it going? 等を言う。	
導入 10分	○MOVIE① Pari 何を着ているの? 絵を見ながら、教師が言う子どもの特徴(着ている)を聞き、どの子どもかを当ててる。 Who is Naomi? She is wearing a red T-shirt and light blue pants. This girl is Naomi.	○子どもが英文を聞きながら、自然に表現を覚えるようにする。	
活動 10分	○カルタ取り 子どもの服装を表す英文を聞いてカルタをとる。 (読む英文は別紙)	○子どもが英文を聞きながら、自然に表現を覚えるようにする。	
活動 12分	○Movie Part2 何を着ているの? (Part2を見せながら行う。難しいようなら()内を省いて、服装だけでも良い。 *Movieの遊びが速いなら、絵を使うか、PWPの静止画を使っても良い。 T: This is Ken What is he wearing? C: (He is wearing) a blue T-shirt and black pants. T: This is Mai. What is she wearing? C: (She is wearing) a pink T-shirt and white pants.	○教師が "She(He) is wearing " まで一緒に言い、子どもが服装だけを英語で言っても良い。	○子どもが英文を言おうとしている。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you so. Thank you so. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 1 今何しているの (2/4)			
単元の目標	本時の目標	本時で扱う主な言葉・表現	
第三者がしていることを尋ね合う活動を通して、動きを表す言葉の変化の仕方に気づき、していることを尋ねたり答えたりする表現の技能を身に付け、英語で友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	人がどんな服装をしているか言うことができる。 動作が進行している状態を表す様々な表現を聞いて理解できる。	reading ~, cleaning ~, studying playing soccer(baseball) playing tag playing the piano(recorder), watering ~ painting a picture.	
準備	動作の絵カード、デジタル教材		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How's it going?? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	○ALTは How are you?以外に、How're you doing? How's it going? 等を言う。	
導入 10分	○MOVIE② 何を着ているの? 絵を見ながら、教師が言う子どもの特徴(していること)を聞き、どの子どもかを当ててる。(絵) MOVIE: Who is Ryu? He is playing soccer. He is wearing a yellow T-shirt and green pants.	○子どもが英文を聞きながら、自然に表現を覚えるようにする。	
活動 10分	○MOVIE② 同じ MOVIE をもう一度見て、何かをしている子どもがどんな服装かを言う。 DV: Who is Ryu? He is playing soccer. He is wearing a yellow blouse and a red skirt. ①何を着ているかが聞こえてくる前に止めて教師が What is he wearing? と質問する。 ②子どもの答えを聞く。又は一緒に言う。 ③答えを確認する。	○子どもが英文を言おうように助ける。	○子どもが英文を言おうとしている。
活動 12分	○子どもがペアでやりとりをする 用意した絵に関して、ペアでやりとりをする。 C1: She is wearing a yellow blouse and a red skirt. C2: (She is watering some flowers.) (She is) here. (指さすだけでもよい)		
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you so. Thank you so. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 1 今何しているの (3/4)			
単元の目標	第三者がしていることを尋ね合う活動を通して、動きを表す言葉の変化の仕方に気付き、していることを尋ねたり答えたりする表現の技能を身に付け、英語で友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。		
	本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現	
	動作が進行している状態を表す様々な表現を聞いて理解し、言うことができる。	What is he(she) doing? He(she) is ~, eating ~, writing a letter, watching TV, making ~, peeling ~, sleeping	
準備	動作のカード、デジタル教材		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	○ALTは How are you? 以外に、How're you doing? How's it going? 等を言う。	
導入 10分	○MOVIE③ 新しい表現を練習 She is writing a letter. He is watching TV. She is making origami. She is peeling a banana. 等 ○練習	○子どもが英文を聞きながら、自然に表現を覚えるようにする。	
活動 10分	新しい表現を学習し、既習の表現を復習する。 ①教師が表現を言い、子どもは動作をする。 taking a nap, writing a letter, watching TV, peeling a banana reading a book, cleaning a room, eating ~ ②教師が動作をして、子ども全員で英語を言う。	○英語を聞いて動作をする活動。 ○動作を見て英語を言う活動。 ○話す活動	◇英語を言うことが出来る
活動 12分	○MOVIE④ ビデオを見て、何をしているかをみんなで答える。 T: What is she doing? C: She is making origami. ○振り返り		
振り返り 3分	○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you oo. Thank you oo. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 1 今何しているの (4/4)			
単元の目標	第三者がしていることを尋ね合う活動を通して、動きを表す言葉の変化の仕方に気付き、していることを尋ねたり答えたりする表現の技能を身に付け、英語で友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。		
	本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現	
	動作が進行している状態を表す様々な表現を聞いて理解し、言うことができる。	What is he(she) doing? He(she) is ~, cleaning ~, playing the piano(soccer, baseball), watering ~, painting a picture, playing kendama computer games, writing a letter, watching TV, peeling ~ eating~, singing	
準備	デジタル教材(調音し探し) 間違いない探し、対の絵		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	○ALTは How are you? 以外に、How're you doing? How's it going? 等を言う。	
導入 10分	○何をしているの? ! 子どもの代表が動作をする。教師、または子どもの代表が What is he(she)doing と質問して、He(She) is reading a book とみんなまで答える。 ○時間によってしていることが違う。それぞれグループに絵を配布する。2枚の絵を見て、同じ子どもがそれぞれ別の絵の中で何をしているかを言う。 *教師が服装を言って、子どもが答える。 T: Ryu is wearing a yellow T-shirt and green pants. What is he doing? C: He is playing soccer here. D: He is reading a book here.	○最初は教師が質問して見本を見せて、できるだけの子どもにも言わせる。 ○絵を拡大コピーして、一着に全員がおこなってもよい。	
活動 10分			
活動 12分	①3人チームになり、2グループで対戦する。 ②1チームの一人が後ろ向きでジュエスチャーし、他の2人がそれを半分隠しながら What is she(he) doing? と質問する。 ③他のチームが答える。(答えるのは一人だが、相談して良い) ④グループを変えて行う。人を変えても回すつを行う。 ⑤多く当てたグループの勝利。	○見本を見せてか ら行う。 ○2チームずつ分かれて一斉に行う *教師は巡回してアドバイスする。	◇英文を質問したり、答えたりすることが出来る。
振り返り 3分	○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you oo. Thank you oo. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 2 自分の日課を見直そう (1/4)			
単元の目標	日本や海外にいる友達の一日の生活時間を尋ね合う活動を通して、世界には時差があり、それぞれの生活時間や習慣が違ふことに気付き、時刻を尋ねたり、答えたりする表現の技能を身に付け、自分の生活について積極的に伝え合おうとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 I get up at ~. I have breakfast (lunch, dinner) at ~. I go (come) to school at ~. I go home at ~. I take a bath at ~. I go to bed at ~.		
準備	絵本、デジタル教材、絵カード、時計 PWP		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (◇)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How's it going? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○首と数字	○ALTに How are you? 以外に、How're you doing? How's it going? 等を使う。	
導入 10分	○What's the time, Mr. Wolf? を読む。絵本を配布し、絵本の描いてある時刻を聞いて答える練習をさせよう。 ○PWP④ 時間の言い方 子どもたちは時刻を質問したりしながら子どもは時刻の言い方を学習していく。 What time is it? (What's the time? でもよい) It's ~. ○起きでからずることば? 朝起きてから何をするか話し合う。教師はそれを絵カードで見せながら英語を導入する。 get up, have breakfast / lunch / dinner, go (come) to school / go home, take a bath / go to bed ○練習 ①教師が言う英語をジェスチャーで行う練習をする。 ②子どもを半分に分けて、一方は英語を言い、他方がジェスチャーをする。	○ALTに How are you? 以外に、How're you doing? How's it going? 等を使う。 ○ALTに How are you? 以外に、How're you doing? How's it going? 等を使う。	
活動 10分	○練習 ①教師が言う英語をジェスチャーで行う練習をする。 ②子どもを半分に分けて、一方は英語を言い、他方がジェスチャーをする。	○絵本を用意する。 ○基点となる場所 で go と come の違いがある。学校を come to school, go home を使うが、難しいので go で統一してもよい。	
活動 12分	○練習 ①教師が言う英語をジェスチャーで行う練習をする。 ②子どもを半分に分けて、一方は英語を言い、他方がジェスチャーをする。	○時刻のたずね方、答え方と、英語表現の基本練習を簡単に言う。	
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you so. Thank you so. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 2 自分の日課を見直そう (2/4)			
単元の目標	日本や海外にいる友達の一日の生活時間を尋ね合う活動を通して、世界には時差があり、それぞれの生活時間や習慣が違ふことに気付き、時刻を尋ねたり、答えたりする表現の技能を身に付け、自分の生活について積極的に伝え合おうとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 What time is it? It's ~. What time did you get up? I get up at six. have breakfast / lunch / dinner, go (come) to school / go home / take a bath / go to bed		
準備	絵本、デジタル教材、できれば時計、表①を印刷したもの Silvana PWP		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (◇)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How's it going? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○首と数字 ○絵本で練習 What's the time Mr. Wolf? を読みながら、時刻、生活表現を復習する。 ○公称があれば、just time と 30分以外の言い方を練習してもよい。	○ALTに How are you? 以外に、How're you doing? How's it going? 等を使う。	
導入 10分	○What's the time Mr. Wolf? を読みながら、時刻、生活表現を復習する。 ○公称があれば、just time と 30分以外の言い方を練習してもよい。	○ALTに How are you? 以外に、How're you doing? How's it going? 等を使う。	
活動 10分	○英文活にあわせた時刻の言い方の復習 教師は What time did you get up this morning? 等と質問して子どもは表①等と答える。 その他の表現も使って練習する。 *What time did you have dinner last night? *go は家や学校を出る時間を使う。	○教師は意味を補足しながら過去形を使うが子どもは時刻だけで答える。	
活動 12分	○自分の日課を確認しよう 子どもたちは表に自分の生活の時間を書き入れる。 ○PWP② (Silvana PWP) イタリヤの子どもの日課の PWP を見て自分のものと比較する。	○絵カードと文字 ○表① ○Silvana PWP	
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you so. Thank you so. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 2 自分の日課を見直そう (3/4)			
単元の目標	日本や海外にいる友達の一日の生活時間を尋ね合う活動を通して、世界には時差があり、それぞれの生活時間や習慣が違うことに気付く、時刻を尋ねたり、答えたりする表現の技能を身に付け、自分の生活について積極的に伝え合おうとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 What time do you get up? I get up at six. have breakfast / lunch / dinner. go(come) to school / go home / take a bath / go to bed		
準備	絵本、デジタル教材、イタリアの資料 子どもたちの生活時間を記入した表②		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! T: How's it going? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と数字 ○What's the time, Mr. Wolf?を読む ○海外の子どもたちの生活時間は? (Silvana PWP と子どもたちが書き込んだ表①を準備)	○ALIT に How are you? 以外に、How're you doing? How's it going? 等を使う。 ○できれば、日本の平均を PWP に記入する。 ○子どもへの質問は個人に聞くと、Iで答えられるが、日本の平均を聞くとき、主語は We になる。	
導入 10分	○日本とイタリアの生活時間を比べる。 T: (Italy) What time do they get up? C: They get up at ~. ○教師は、日本の子どもたちが何時に何をするか英語で子どもたちに質問する。 (日本) What time do you get up? (I get up) at ~. ○二つの国の生活時間の違いに關して意見を述べ合おう。		
活動 10分	○表現を練習 さらに教師は ALIT または何人かの子どもたちと What time do you get up? I get up at ~. と言い合 い、練習する。 ○子どもたちは、ペアで What time do you get up? I get up at ~. と質問して答える練習をする。	○～do you get up? は習慣を質問している。	
活動 12分	○友達に質問しよう 子どもたちは、いろいろな友達に What time do you get up? I get up at ~. と聞きあう練習をする。 ○振り返り ○発表のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you oo. Thank you oo. H(A): You're welcome. Have a nice day.	○表に書き込み、一番早い人遅い人等を話し合っても良い。	
振り返り 3分			

5年 Lesson 2 自分の日課を見直そう (4/4)			
単元の目標	日本や海外にいる友達の一日の生活時間を尋ね合う活動を通して、世界には時差があり、それぞれの生活時間や習慣が違うことに気付く、時刻を尋ねたり、答えたりする表現の技能を身に付け、自分の生活について積極的に伝え合おうとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 What time do you get up? I get up at six. have breakfast / lunch / dinner. come to school / go home / take a bath / go to bed, Korea, UK		
準備	絵本、デジタル教材、時差表 生活比較表		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! T: How's it going? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と数字 ○What's the time, Mr. Wolf?を読む ○PWP②(Silvana PWP)時差について学ぶ ①教師は時差表を用意し、子どもたちは4人グループになり、学習する。 ②教師は子どもたちに、時差について質問したり、なぜ時差があるのか説明したりする。	○ALIT に How are you? 以外に、How're you doing? How's it going? 等を使う。 ○イタリアとの比較の前に時差を先に学習することも可能だが、日課表の学習との兼ね合いが難しい。	
導入 10分	○日本とイタリアを比較しよう 子どもたちはグループになり、日本とイタリアの時差を計算して比較した時間を①の表に書き込む。		
活動 10分	○私たちが起きる時間に海外は? ①子どもたちは、生活時間帯を一つ選び、その時間が他の国では何時になるかを調べる。 When I get up at 7 o'clock. In Italy, it's ~. In UK, it's ~. In Korea, it's ~ ②表を見ながら、発表する。 ○振り返り H: That's all for today. C: Thank you oo. Thank you oo. H(A): You're welcome. Have a nice day.	○時間があれば行う。 ○表③	
振り返り 3分			

5年 Lesson 3 運動会はいつですか (1/4)				
単元の目標	誕生日や行事等を伝え合う活動を通して、世界と日本の祭りや行事等の違いに気づき、月日に関する表現の技能を身に付け、互いの思いを確認しながら積極的に月日を伝え合おうとする。			
月の言い方と日付を聞き、その表現になれる	本時の目標 本時で扱う主な語彙・表現			
準備	デジタル教材、HP2、行事カルタ	January ~ December	1st ~ 31st	
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)	
Warm up 10分	○T: Hi, class! T: How's it going? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	○ALTに How are you? 以外に、How're you doing? How's it going? 等を用いる。		
導入 10分	○HP2 p. 6 Let's play 1 Let's listen 1 日本の行事と月を確認し、世界の行事についても学習しながら月を表す言い方に慣れる。			
活動 10分	○HP2 p. 8 Let's Chant 月を表す英語の発音を確認する。			
活動 12分	○行事カルタをする。 教師が日付を言い、子どもは行事の絵カードを選んで取る。 T: January 1st C: (正月のカードを取る)	○取らないで、タッチするだけでもよい。	◇音声をよく聞いて、カルタ取りに参加している。	
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.			

5年 Lesson 3 運動会はいつですか (2/4)				
単元の目標	誕生日や行事等を伝え合う活動を通して、世界と日本の祭りや行事等の違いに気づき、月日に関する表現の技能を身に付け、互いの思いを確認しながら積極的に月日を伝え合おうとする。			
月の言い方と日付を聞いて言えるようになる	本時の目標 本時で扱う主な語彙・表現			
準備	デジタル教材、HP2	サザニさん一家の似顔絵を模写したもの	My birthday is ~.	
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)	
Warm up 10分	○T: Hi, class! T: How's it going? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	○ALTに How are you? 以外に、How're you doing? How's it going? 等を用いる。		
導入 10分	○HP2 p. 8 Let's Chant (復習) 月を表す英語の発音を確認する。			
活動 10分	○MOVIE② 日付の言い方を分類して学習する。 ①②③ 数字とは違う言い方。発音に注意して練習しよう ①、2、3は野球と関係がある ②③ 今まで学習した数字に[H]を付けて発音するだけ ③④⑤は①と②の混合	○ALTに発音練習をしてもらう。		
活動 12分	○HP2 p. 8 Let's play 2 月日を表す英語を確認する。 ○HP2 p. 8 Let's Listen 2 誕生日を絵で頼んで聞き取り練習	○聞く練習		
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.			

5年 Lesson 3 運動会はいつですか (3/4)			
単元の目標	誕生日や行事等を伝え合う活動を通して、世界と日本の祭りや行事等の違いに気づき、月日に関する表現の技能を身に付け、互いの思いを確認しながら積極的に月日を伝え合おうとする。		
本時の目標		本時で扱う主な語彙・表現	
お友達のお誕生日を尋ねたり、答えたりできる。		January ~ December 1st ~ 31st ~'s birthday is ~. When is your birthday? My birthday is ~.	
準備	デジタル教材		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	○ALTはHow are you? 以外に、How're you doing? How's it going? 等を言う。	
導入 10分	○サザエさん一家の誕生日 教師が残音するサザエさん一家の誕生日を書きとる。 教半 9/14 ふね 1/11 サザエ 11/22 ますお 4/3 かつお 3/11 わかめ 6/15 たら 3/18	○サザエさんに興味をささない場 合、ほかのマンガのキャラクターに変えてもよい。 ○類推しながら聞きとるように入力バイスする。	
活動 10分	○自分の誕生日を練習 ①教師が一人ずつ、誕生日を聞いていく。 *その間子どもは誕生日を言えるように練習している。 When is your birthday? My birthday is ~ ②誕生日を質問したり、答えたりする練習をペアやグループで行う。	☆教師が例を示す ☆一人ずつ回ってアドバイスする。 ○自分の誕生日が言えること。他はひとまず聞ければ十分と考えよう。	◇自分の誕生日が英語で言える。
活動 12分	○誕生日順 (1月~12月) に並ぼう 男、女がグループで2, 3に分けると良い。 ①お互いの誕生日を英語で聞きながら順番に1列に並ぶ。 ②完了したら、順番に言っただけかめる。 ③最後に教師の誕生日を全員で質問して教師のいる位置を考える。	○教師はできるだけ男、女がグループで2, 3に分けると良い。 ○教師は誕生日を英語で聞きながら順番に1列に並ぶ。 ○完了したら、順番に言っただけかめる。 ○最後に教師の誕生日を全員で質問して教師のいる位置を考える。	◇積極的に誕生日を質問したり、言っただけかめる。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 3 運動会はいつですか (4/4)			
単元の目標	誕生日や行事等を伝え合う活動を通して、世界と日本の祭りや行事等の違いに気づき、月日に関する表現の技能を身に付け、互いの思いを確認しながら積極的に月日を伝え合おうとする。		
本時の目標		本時で扱う主な語彙・表現	
学校の行事の日を英語で表現できる。		January ~ December 1st ~ 31st The sports day is August. 30th.	
準備	デジタル教材、えいごリアン2、 行事予定表を参考に行事の穴埋めワークシート (4種類) を作成する(書き込みシートあり)		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	○ALTはHow are you? 以外に、How're you doing? How's it going? 等を言う。	
導入 10分	○行事の日を質問したり、答えたりする。 "When is the sports day?" "It's on June 10th." 運動会、学芸会、その他の学校行事の言い方を練習する。 難しい場合行事は日本語でもいい。 例えば、Sotsugyo shiki (卒業式) is March 19th.	*下記参照	
活動 10分	○学校行事の日を質問 When is the sports day? When is the school play? When is Sotsugyo shiki? ○答え方の確認 It's March 19th.	○行事は日本語で言ってもよい。	
活動 12分	○行事表を作成 4種類のワークシートを配布し、クラスでそれぞれ質問しあい、日付が振られているところを埋めて、行事予定表を作成させる。(表現は上記を参照) *学校の行事表を参考に、書き込みシートに算用数字で日付を書き込む。1枚の表で、2, 3個、日付を書かないで空けておき4種類の異なる表を作る。	○行事表を完成 しあい、日付が振られているところを埋めて、行事予定表を作成させる。(表現は上記を参照) *学校の行事表を参考に、書き込みシートに算用数字で日付を書き込む。1枚の表で、2, 3個、日付を書かないで空けておき4種類の異なる表を作る。	◇積極的に活動に関わっている。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

*学校行事 英語表現例
Summer(winter) vacation 夏(冬)休み Sports day 運動会 Observation day 授業参観日
Opening(closing) ceremony 始業(終業)式 The first(second, third) term 一(二、三)学期
Home visits 家庭訪問 Graduation ceremony 卒業式 Fire drill 避難訓練 School play 学芸会

5年 Lesson 4 五感をもとに表現しよう (1/4)			
単元の目標	対象物を伝え合う活動を通して、日本語と英語の違いに気づき、五感をを使って感じたことを表現する技能を身に付け、感受性豊かに積極的に表現しようとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現		
五感とは体のどの場所であるか英語で理解すること、目、耳、手で感じる英語表現を学ぶ	eyes, ears, nose, hands, (mouth) beautiful, funny, noisy, quiet, sweet, bad, soft, hard		
準備	絵本、デジタル教材、風景のきれいな写真、音の出るもの。(大きな音・小さな音が出るもの) 新しくおいしそうな香りがあるもの。触ってフカフカのもの、そうでないもの。		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と数字	○ALTは How are you? 以外に、How're you doing? How's it going? 等を用いる。 ○ALTは How are you? 以外に、How're you doing? How's it going? 等を用いる。	
導入 10分	○五感で感じよう ① 写真やものを見たり、音を聞かせたり、においを嗅いだり、触ったり、(味わったり)して、その感想を日本語で言う。 ② 体のどこの部分を使って感じたか、英語で言う。 視覚 eyes, 聴覚 ears, 嗅覚 nose, 触覚 hands	○嗅覚、嗅覚、触覚に閉じているだけ実物を用意(セーター、香水、ボリウムを最大限にした機器) ○五感の場所を認識させる。	
活動 10分	○MOVIE① 導入で出てきた体の部分を使って、ジェスチャーしながら、形容詞を英語で言う。 ★手でメガネの形をつくって、beautiful, funny. ★手を耳にかざして、noisy, quiet ★指先を動かして、soft, hard. ○PWP 感想を言うのみよう 教師は "How is it?" を使って子どもに聞く。他の写真を見て感想を言う練習をする (目、耳、手関連)。		◇語彙(形容詞)とそれを感じ取れる部分を感じ的に理解できている。
活動 12分		○表情、ジェスチャーの大切さを理解させる。 I'm sick, すっぱい顔をして、sally と行って、感想を聞き、表情とコミニケーションの関係を認識させる。	
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 4 五感をもとに表現しよう (2/4)				
単元の目標	対象物を伝え合う活動を通して、日本語と英語の違いに気づき、五感をを使って感じたことを表現する技能を身に付け、感受性豊かに積極的に表現しようとする。			
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現			
目、耳、手、に加えて、鼻、舌で表す英語表現を学び、全体を合わせて練習する。	beautiful, funny, / noisy, quiet. / soft, hard. Smells sweet (good, bad). / Tastes good(bad, hot, bitter, sour, salty, spicy). / looks like ~			
準備	絵本、デジタル教材、目、耳、鼻、舌の絵カード カード15枚セット			
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆)	評価のポイント (◇)	
Warm up 10分	○T: Hi, class! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と数字	○ALTは How are you? 以外に、How're you doing? How's it going? 等を用いる。 ★鼻を触って Smells sweet(good, bad). ★食べる真似をしながら Tastes good(bad, hot, bitter; sour, salty, spicy). ○鼻、舌に関連する写真で練習 ○MOVIE② 英語で言うのみよう すべての種類の練習をする。 ○抽選しよう ①教師は "How is it?" を使って聞く。 ②写真を見て感想を言う練習をする (目、耳、鼻、舌) すべてに関連する写真。	○十分に定着した後で、話す活動に移る	
導入 8分				
活動 10分				
活動 12分	○カードゲーム (15枚セット) ① 6、7人のグループを作り、カードを1セット配布する。 ② カードをすべて、裏にして置く。 ③ 代表の1人が、教師が持っているカードの中から1枚取り、グループにもどりと、仲間に見せたいよう「Funny」 ④ 他の子どもは15枚の伏せたカードの中からそれぞれ1枚写真を選んで取り、取り上げた写真が funny だと思ったら "Funny too" と言う。判定はみんなです。誰のカードも funny でなかったら、みんなでもう一度カードを取る。		◇活動に意欲的に参加して英語を質問したり、言ったりしている。	
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.			

5年 Lesson 4 五感をもとに表現しよう (3/4)			
単元の目標	対象物を伝え合う活動を通して、日本語と英語の違いに気づき、五感を使って感じたことを表現する技能を身に付け、感受性豊かに積極的に表現しようとする。		
本時の目標		本時で扱う主な語彙・表現	
五感に関係する英語を使ったヒントを出して、クイズ大会の準備をする。		beautiful, funny, / noisy, quiet, / soft, hard. Smells sweet (good, bad), / Tastes good(bad, hot, bitter, sour, salty, spicy). / looks like ~	
準備	絵本、デジタル教材、雲のアラジンカード6枚		
学習過程	活動内容 (O)	教師の支援 (☆) 留意点 (O)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と数字 ○It Looked Like Spilt Milk を読む。	○ALIT は How are you? 以外に、How're you doing? How's it going? 等を使う。	
導入 10分	○絵本 絵本を読んで、look(s, ed) like ~ を学ぶ。 It looks like milk(a bird, a tree, an ice cream corn etc.) 「~のように見える」と言う言い方を練習する。 ○雲が何に見える? 雲のアラジンカードを見せて、It looks like ~で言う練習をする。 他にも良い例があれば、子どもたちに練習させる。	○現在形にして言うほうが状況にあっている	
活動 7分	○クイズ大会のデモンストレーション 教師が例を出して、子どもが答える。 (例)white quiet No smell cold → snow (例)slow quiet Smells bad hard turtle (例)sweet, soft, white or pink, It looks like cotton, → Cotton candy	☆教師が例を示す	
活動 15分	○クイズ大会の準備 グループでクイズの出し物をつつ決め、それについて一人一つずつ、五感を使った表現のヒントを出す。ほかの児童は、それを聞いて、何があてる。 *4種類を一人一つずつ言えるように4人1組のグループが好ましい。(同じ種類のものがあってもよく、すべて4種類でなくとも良い)		◇グループ活動にメンバーのひとりと積極的に参加している。
振り返り 3分	○振り返り H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 4 五感をもとに表現しよう (4/4)			
単元の目標	対象物を伝え合う活動を通して、日本語と英語の違いに気づき、五感を使って感じたことを表現する技能を身に付け、感受性豊かに積極的に表現しようとする。		
本時の目標		本時で扱う主な語彙・表現	
五感に関係する英語を使ったヒントを出して、クイズ大会をする。		beautiful, funny, / noisy, quiet, / soft, hard. Smells sweet (good, bad), / Tastes good(bad, hot, bitter, sour, salty, spicy). / looks like ~	
準備	絵本、デジタル教材		
学習過程	活動内容 (O)	教師の支援 (☆) 留意点 (O)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と数字 ○It Looked Like Spilt Milk を読む。 ○絵、または MOVIE で衣洗の復習 beautiful, funny, / noisy, quiet, / soft, hard. (Smells sweet, bad, / tastes.)	○ALIT は How are you?以外に、How're you doing? How's it going? 等を使う。	
導入 7分	○クイズ大会 ①グループの順番を決め、クイズを出す。 ②他のグループは4つのヒントをすべて聞き終わってから相談し、順番に答えを言う。 例 looks like a stick, Tastes sweet, Smells sweet, hard. 答え ボツキー		◇クラスのみになにわかるように、発表する環境を整える。
活動 20分	○クイズの振り返り どのグループが一番、楽しいクイズだったかなどその理由などを言い合って、感想を述べる。		
活動 5分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 5 人の様子を伝えよう (1/4)			
単元の目標	本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現	
人の性格や様子を伝え合う活動を通して、性格や様子を表す言葉の違いに気付き、性格や様子を表す言い方、それに同意したり、反対したりする表現の技能を身に付け、自分の考えを積極的に伝え合おうとする。	人の性格や様子を伝え合う活動を通して、性格や様子を表す言葉の違いに気付き、性格や様子を表す言い方、それに同意したり、反対したりする表現の技能を身に付け、自分の考えを積極的に伝え合おうとする。	What do you think? He's funny. interesting, cool, cute, pretty, beautiful	
準備	デジタル教材、人物の写真(教材を一人ずつA4で複製印刷)、6枚綴りの写真		
学習過程	活動内容(○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字 ○MOVIE① ダイアログを見て人に対する感想をどのように表現するかを学ぶ。 表現を繰り返して練習する。		
導入 10分	○PWPOで練習 ①教師は写真を一枚ずつ出して Look at this picture. What do you think? と子ども全体に聞く。 ②子どもは He's funny. She's pretty. etc.と最初は全体、次に一人ずつ感想を言う。	○写真を用意 ☆最初は教師が表現を言うのを助ける ○最初は全体に質問するが、次に一人ずつ聞いていく。1枚につき5、6人に、質問する。	
活動 10分	○どう思う?①(6枚綴りの写真)グループで活動を行う。 人、枚写真を選び、友達に Look at this picture. What do you think? と聞いていく。自分が選んだ写真でどの感想が多かったかを発表する。 *活動ごとに写真の種類を変える。	○英語的には自分の意見を最初に言うのが正しいが、ここでは段階的に練習する。	◇積極的に質問したり答えたりしている。
振り返り 3分	○振り返り H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 5 人の様子を伝えよう (2/4)			
単元の目標	本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現	
人の性格や様子を伝え合う活動を通して、性格や様子を表す言葉の違いに気付き、性格や様子を表す言い方、それに同意したり、反対したりする表現の技能を身に付け、自分の考えを積極的に伝え合おうとする。	人の性格や様子を伝え合う活動を通して、性格や様子を表す言葉の違いに気付き、性格や様子を表す言い方、それに同意したり、反対したりする表現の技能を身に付け、自分の考えを積極的に伝え合おうとする。	He's cool. What do you think? I think so. I don't think so. funny, interesting, funny, pretty, beautiful, scary	
準備	デジタル教材、人物の写真、6枚綴りの写真		
学習過程	活動内容	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字 ○MOVIE② ダイアログを見る。 He's so cool. What do you think? I think so. I don't think so. He's funny.等の表現をよく聞く。		○英語的には自分の意見をまず言うことから相手の感想を質問するのが普通である事を言う。
導入 10分	○PWPOで練習(1時間目と同じPWPを使う) ①できれば、下記の表現を、教師2人のデモンストラーションで覚えて、子どもにもInputを充分与える。 ②教師が写真を一枚選び、その人物に関して Look at this picture (I think) He's so cool. What do you think? などと言う。子どもはその都度 I think so, too. または I don't think so. He's funny.等と答えてゆく。最低でも5、6人は行う		○教師の英語を聞かせて自然に覚えさせる。 楽しいなら、今回は、I think so. I don't think so. だけでもよい。
活動 10分	○どう思う?②グループで活動を行う。 子どもは、写真を指し示しながら、(Look at this picture) She's cute.等と自分の意見をまず言い What do you think? と質問する。聴かれた子どもは I think so, too. または I don't think so. と答える。		○グループに分けて行ったほうが、教師が子どもを把握しやすい。
振り返り 3分	○振り返り H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 5 人の様子を伝えよう (3/4)			
単元の目標	人の性格や様子を伝え合う活動を通して、性格や様子を表す言葉の違いに気づき、性格や様子を表す言い方、それに同意したり、反対したりする表現の技能を身に付け、自分の考えを積極的に伝え合おうとする。		
準備	デジタル教材 6枚綴りの写真		
学習過程	活動内容	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	C: Hi, class! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字		
導入 10分	CMOVIE③ さらに語彙を習得し、charming, smart, great, I don't think so. She's beautiful. 等と感想を付け出す言い方を学習する。	○smart, great 等はお互いによく知っている人物でないと、言えないので有名人物等の写真を用意してもよい。	
活動1 10分	CPWP③で練習 新しい語彙を練習する。(charming, smart, great) 教師が "He's funny. What do you think?" 等と質問する。質問された子どもたちは、"I think so, too. He's cool, too." または "I don't think so. He's cool." のように感想を付け加えた練習をする。 * 写真を覚えて、教回行う。 * 役割を交代する。		
活動 12分	○どう思う? ⑥ グループで活動を行う。自分の意見をまず言い、活動1のように質問して、質問されたほうは、感想をつけながらそれに答える。 * 写真を覚える。	○I think so, too. と I don't think so. を言うとき、表情やジェスチャーなどを付けると伝わりやすい。	◇相手の意見に対して自分はそのについて同意見か反対かを伝えることができる。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 5 人の様子を伝えよう (4/4)			
単元の目標	人の性格や様子を伝え合う活動を通して、性格や様子を表す言葉の違いに気づき、性格や様子を表す言い方、それに同意したり、反対したりする表現の技能を身に付け、自分の考えを積極的に伝え合おうとする。		
準備	デジタル教材		
学習過程	活動内容	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字		
導入 10分	CMOVIE④ 写真を見たずに、自分の取り上げたい人物で行う。 A: My Aunt is great. What do you think? B: I think so, too. He's so cool too. or I don't think so. He's funny. 教師二人、さらに教師と子どもでモデルを行う。3, 4人	☆ALT がいればモデルを見せてもらう。	
活動 12分	○What do you think? ⑦ 上記の活動を行う ①隣の子とも同士で行う。 ②ペアを見つけて行う。		◇発表するとき、感情をこめて表情などにも気を付ける。
活動 10分	○文字活動 (上記の活動が足りなければ続けて行ってもよい) テキストの単語(形容詞)の下に子どもが当てはまると思う人物の名前を書く。	○My mother (father, sister) 等でもよい。	
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 6 自分のお気に入りのものを紹介しよう (1/4)			
単元の目標	自分のお気に入りのものを紹介する活動を通して、日本語と英語の違いに気付く、自分の考えや気持ち等を表す表現の技能を身に付け、積極的に話したり、反応したりしようとする。	単元の目標	自分のお気に入りのものを紹介する活動を通して、日本語と英語の違いに気付く、自分の考えや気持ち等を表す表現の技能を身に付け、積極的に話したり、反応したりしようとする。
準備	絵本、デジタル教材	単元の目標	自分のお気に入りのものを紹介する活動を通して、日本語と英語の違いに気付く、自分の考えや気持ち等を表す表現の技能を身に付け、積極的に話したり、反応したりしようとする。
学習過程	活動内容	教師の支援(☆)	評価のポイント(◇)
Warm up 10分	C: Hi, class! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. C: What day of the week is it today? C: What's the date today? C: 音と文字 ○絵本 Show and Tell (文字なし)		
導入 10分	C: MOVIE ① 実際の映像を見てイメージを膨らませる。例を紹介 ① This is my racket. It's very light. Look at me. テニスをする。 I like badminton very much. ② This is my bag. It's useful. This is a backpack. This is a bag. It's my favorite. ③ This is my hat. It's my favorite. I have 15 hats. I like hats very much ④ This is my Spiderman. He's my favorite. He's strong and brave. He's my hero. I like Spiderman very much.	○何を言っているか、どのようなことを言っているかを考えながら見るように言う。 ○既習の単語、表現を思い出すように子どもを励ます。	
活動 10分	何か品物を用意して子どもたちみんなが説明する練習をする。 ① 最初の紹介 This is a ~. This is my ~. ② 物の説明 It's light(useful, pretty, beautiful, cute) (形容詞を使う) ③ 大切なものである事、故の説明。 I like ~. It's my favorite. I have two ~s.		
活動 12分	C: 練習② 子どもたちは、それぞれ身の回りの文房具などを使って練習する。 グループで発表し合う。		◇身の回りの物を工夫して英語で何とかが説明しようとしている。
振り返り 3分	C: 振り返り C: 終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生。 Thank you, ~先生。 H(A): You're welcome. Have a nice day.		

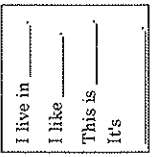
5年 Lesson 6 自分のお気に入りのものを紹介しよう (2/4)			
単元の目標	自分のお気に入りのものを紹介する活動を通して、日本語と英語の違いに気付く、自分の考えや気持ち等を表す表現の技能を身に付け、積極的に話したり、反応したりしようとする。	単元の目標	自分のお気に入りのものを紹介する活動を通して、日本語と英語の違いに気付く、自分の考えや気持ち等を表す表現の技能を身に付け、積極的に話したり、反応したりしようとする。
準備	絵本、デジタル教材	単元の目標	自分のお気に入りのものを紹介する活動を通して、日本語と英語の違いに気付く、自分の考えや気持ち等を表す表現の技能を身に付け、積極的に話したり、反応したりしようとする。
学習過程	活動内容	教師の支援(☆)	評価のポイント(◇)
Warm up 10分	C: Hi, class! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. C: What day of the week is it today? C: What's the date today? C: 音と文字 ○絵本 Show and Tell (文字なし)		
導入 10分	C: MOVIE ② Show and Tell 実演② 先週の表現プラズマに気をつけないで見ると、どんな内容だったか気づいたことを発表する。 ① This is my yo-yo. I can play yo-yo very well. Let me show you. I like yo-yo very much. ② I like Ayatori. I can play Ayatori very well. This is a river. This is a butterfly. It's fun.	○新しい表現が付け加えられていたか質問する。 ○説明するだけでなく、「やってみせろ」「活動を見せろ」と楽しいし、わかりやすいことなどに気づく。	◇新しい表現に気づいて練習している。
活動 10分	C: MOVIE ② 同じものをもう一度見せる。 C: 練習③ 先週の MOVIE に出てきた表現以外のものに気づいて、練習をする。 I can ~ very well. Let me show you. It's fun(easy, interesting). C: 絵本を読む。 海外の例を絵本から学ぶ、Show and Tell(文字あり)を説いて参考にさせる。		
活動 12分	来週に向けて何を Show and tell するか考えてくる。		
振り返り 3分	C: 振り返り C: 終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生。 Thank you, ~先生。 H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 6 自分のお気に入りのものを紹介しよう (3/4)			
単元の目標	本時の目標		評価のポイント (◇)
自分のお気に入りのものを紹介する活動を通して、日本語と英語の違いに気づき、自分の考えや気持ち等を表す表現の技能を身に付け、積極的に話したり、反応したりしようとする。	本時で扱う主な語彙・表現		
自分のお気に入りのものについて、見本物などを使ったり、実際に例を示したりしながら進んで紹介しようとしている。	This is my ~. This is a ~. It's ~. I like ~. It's my favorite. I have ~. I'm good at ~. It's fun, (useful, easy, funny, interesting, pretty) I can ~.		
準備	絵本、デジタル教材		
学習過程	活動内容	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と数字 ○絵本 Show-and-Tell (文字あり)		
導入 10分	○発表のための準備 ①教師が show and tell の見本を見せる。 例 This is my racket. This is my favorite. I like playing tennis. (デニスをやるふり) ②表現のおさらいなどをする。 This is my ~. This is a ~. It's ~. I like ~very much. This is my favorite. I have ~. I'm good at ~. It's useful. (fun, easy, funny, interesting, pretty) I can ~very well.	☆教師が簡単な手本を示してイメージをつかませる。	
活動 10分	○発表のための準備 発表に備えて、練習する。	○ジェスチャーを交えてゆっくり言う。	
活動 12分	○発表のための準備 発表に備えて、練習する。	☆ALT がいる場合は、表現を確認する。 ○発表時、実物を持ちてくるか、絵又は写真にするか検討する。	◇発表のために工夫して準備や練習をしている。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 6 自分のお気に入りのものを紹介しよう (4/4)			
単元の目標	本時の目標		評価のポイント (◇)
自分のお気に入りのものを紹介する活動を通して、日本語と英語の違いに気づき、自分の考えや気持ち等を表す表現の技能を身に付け、積極的に話したり、反応したりしようとする。	本時で扱う主な語彙・表現		
自分のお気に入りのものを紹介する活動を通して、自分の考えや気持ちなどを簡単な英語で話したり、それに反応したりすることができる。	This is my ~. This is a ~. It's ~. I like ~. It's my favorite. I have ~. I'm good at ~. It's easy. (funny, interesting, pretty) I can ~. Do you know ~? Do you like ~?		
準備	絵本、デジタル教材、子どもたちのお気に入りのもの		
学習過程	活動内容	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と数字 ○絵本 Show-and-Tell (文字あり)		
導入 10分	○発表 ビデオに撮り、ウエブ上にアップしても良い。(snowman)	○発表に向けて、自信が持てるような時間にあてる。	
活動 10分	○発表 ビデオに撮り、ウエブ上にアップしても良い。(snowman)		◇積極的に発表したり、ほかの人の発表に耳を傾けたりしている。
活動 12分	○発表 ビデオに撮り、ウエブ上にアップしても良い。(snowman)		
振り返り 3分	○振り返り H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 7 自分の町を紹介しながら附属小の人と交流しよう (1/5)			
単元の目標	本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現	評価のポイント (◇)
自分の町のよいところを(ほかの3校の)附属小の友達に紹介する活動を通して、他の町のよさに気づき、伝えたいことを言葉や文字を使って表現する技能を身に付け、自分の町のよさについて積極的に紹介しようとする。	自分の町のよさを(ほかの3校の)附属小の友達に紹介する活動を通して、他の町のよさに気づき、伝えたいことを言葉や文字を使って表現する技能を身に付け、自分の町のよさについて積極的に紹介しようとする。	mountain, sea, river, island, factory, tower, shrine, temple, castle, building I live in ~, I like ~, This is ~, It's ~.	
準備	デジタル教材 他附属とどのような手段で交流するか話あておく。		
学習過程	活動内容	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字		
導入 7分	○自然、施設の名前を復習 2,4年生で学習した、自分たちの町を思い出し、自然、施設の名前を復習する。 mountain, sea, river, island, factory, tower, shrine, temple, castle, building	○MOVIE を用意	
活動 17分	○自分たちの町を紹介するとしたら? 自分たちの町のよさを知り、観光名所や名産品などを友達と共有し、他の地域の人にとどこを紹介したらよいか、みんなで話し合う。	☆ワエヒビンゾマ ップにあらわす よう支援する。	
活動 8分	○MOVIE 文字無し MOVIE を使用して例を紹介し、英語で紹介する際のイメージを持たせる。		
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 7 自分の町を紹介しながら附属小の人と交流しよう (2/5)			
単元の目標	本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現	評価のポイント (◇)
自分の町のよいところを(ほかの3校の)附属小の友達に紹介する活動を通して、他の町のよさに気づき、伝えたいことを言葉や文字を使って表現する技能を身に付け、自分の町のよさについて積極的に紹介しようとする。	自分の町をどのように紹介したらよいかを話し合い、英語表現等を考える。さらにグループ同士でもアトバイスし合う。	mountain, sea, river, island, factory, tower, shrine, temple, castle, building, city hall I live in ~, I like ~, This is ~, It's ~, It's in ~, It's called ~.	
準備	デジタル教材, iPad(タブレットで調べる) 関係語彙などを事前に調べて、タブレットで調べる。		
学習過程	活動内容	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字		
導入 7分	○MOVIE 文字無し 先週と同じ MOVIE を見て復習する。		
活動 15分	○MOVIE 文字付き ①子どもたちにとってよいサンプルになる例を文字付きでみせる。 ②例に出てきた語彙、表現を練習する。 ③同じ MOVIE を PWP を使って、アフレコで練習する。 ○発表の準備 何を発表するかを話し合う。 札幌 The city hall(市役所) 道庁は prefectural office などで難しい The TV tower, The Clock Tower 旭川 zoo, factory, hospital 駅前 harbor, Morning Market, Park, food, 釧路 harbor, ship, food	○自分の地域と関係のあるものを選択してみせる。 ☆あらかじめ子どもの発表の予想をたて、関係語彙などを事前に調べて、タブレットオリオにアップしておく。さらに詳しい語彙は言い換え等を準備する。	
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 7 自分の町を紹介しながら附属小の人と交流しよう (3/5)			
単元の目標	自分の町のよいところを(ほかの3校の)附属小の友達に紹介する活動を通して、他の町のよさに気づき、伝えたいことを言葉や文字を使って表現する技能を身に付け、自分の町のよさについて積極的に紹介しようとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 I live in ~, I like ~, This is ~, It's in ~, It's called ~, city hall mountain, sea, river, island, factory, tower, shrine, temple, castle, building, city hall その他の語彙		
準備	デジタル教材, 模造紙その他		
学習過程	教師の支援(☆) 留意点(○)		
活動	評価のポイント(◇)		
Warm up 10分	活動内容 ○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント(◇)
導入 10分	○準備 グループごとに話し合い、資料を作成し、発表の練習をする。 	☆発表内容が重ならないように調整し、子どもにも助言をする。 ☆ALT は必要な語彙をアドバイスする ○基本文を英語で書いたものを提示しておく。	
活動 10分	○準備 アドバイスをもとに、修正したり、付け加えたり、最終調整を行う。		
活動 12分	○練習 発表の練習をする。		
振り返り 8分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 7 自分の町を紹介しながら附属小の人と交流しよう (4/5)			
単元の目標	自分の町のよいところを(ほかの3校の)附属小の友達に紹介する活動を通して、他の町のよさに気づき、伝えたいことを言葉や文字を使って表現する技能を身に付け、自分の町のよさについて積極的に紹介しようとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 I live in ~, I like ~, This is ~, It's in ~, It's called ~, mountain, sea, river, island, factory, tower, shrine, temple, castle, building, city hall その他の語彙		
準備	デジタル教材, 子どもたちが用意した資料		
学習過程	教師の支援(☆) 留意点(○)		
活動	評価のポイント(◇)		
Warm up 10分	活動内容 ○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント(◇)
導入 10分	○クラス内で発表 クラス内で発表し合い、批評し合い、他校との交流に備える。 *2グループでお互いに発表しあつて模擬交流の形をとることも考えられる。	○自分のグループ以外の発表では、他校の気持ちになつて聞いたり、質問したりするとよい ☆どのように交流するか充分にアドバイスをする ☆自分の町で強調すべきところを考えたり、他校の町と共通するところ、異なるところ等を観察したりする等、どのような対応が必要かをアドバイスする。	
活動 10分	○クラス内で発表		
活動 10分	○クラス内で発表		
振り返り 8分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 7 自分の町を紹介しながら附属小の人と交流しよう (5/5)			
単元の目標	自分の町のよいところを(ほかの3校の)附属小の友達に紹介する活動を通して、他の町のよさに気付く、伝えたいことを言葉や文字を使って表現する技能を身に付け、自分の町のよさについて積極的に紹介しようとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 I live in ~. I like ~. This is ~. It's ~. It's in ~. It's like ~. It's called ~. mountain, sea, river, island, factory, tower, shrine, temple, castle, building その他: 言葉		
準備	デジタル教材、子どもたちが用意した資料、iPad または スカイプ		
学習過程	活動内容	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How's it going? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字		
導入 10分	○他校と交流 (snowman or スカイプ等) 子どもたちがまとめたことをウエブ上にアップ(snowman)しておいて、お互いに見合うか、スカイプ等を利用して同期授業を行って交流する。	○他附属の先生と話し合いあらかじめ決定しておく。	
活動 10分	○他校と交流 (snowman or スカイプ等)		
活動 12分	○他校と交流 (snowman or スカイプ等) *他校と交流後に、感想を書き、それをウエブ上にアップしてもよい。(snowman)		
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 8 附属小以外の人とお話をしよう (1/3)			
単元の目標	既習事項を用いて、初めて合う人に自分のことなどを紹介したり、相手に質問したりする活動を通して、既習事項を活用する技能を身に付け、積極的に自分のことを伝えようとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 モデルコミュニケーションを見て既習の表現を復習 I'm ~. Nice to meet you. I like ~. I have ~. I can't. ~. さらに、初対面の人に何を伝えたいか、何を聞きたいかを考える。 Do you have ~? How many ~? What ~do you like? ~ is great. What do you think? This is ~. It's ~. Do you like ~? Yes, I do. No, I don't. 他		
準備	デジタル教材		
学習過程	活動内容	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How's it going? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字		
導入 10分	○MOVIE Part 1 & 2 ①コミュニケーションの様子を見たらどんな話題について話しているかを理解する。 ②Part 2 は同じ内容だが、絵のヒントがついているので、さらに理解を深める。		
活動 10分	○表現を練習 どんな表現を使っているかを確認しながら、今まで学習したことを復習する。	☆教師は既習の表現をまとめておいてアードバイスする。(参考文例あり)	
活動 12分	○表現を練習 今まで学習したことを参考にしながら、自分の言いたいこと、相手から聞きたいことを英語でどのように表現したらよいかをまとめる。		
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 8 附属小以外の人とお話をしよう (2/3)				
単元の目標	既習事項を用いて、初めて合う人にも自分のことなどを紹介したり、相手に質問したりする活動を通して、既習事項を活用する技能を身に付け、積極的に自分のことを伝えようとする。			
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現			
モデルコミュニケーションを見て既習の表現を復習する。さらに、友達と協力し合い、どのように話を持っていくかなどを話し合う。	I'm ~. Nice to meet you. I like ~. I have ~. I can~. Do you have ~? How many ~? What ~do you like? ~ is great. What do you think? This is ~. It's ~. Do you like ~? Yes, I do. No, I don't. 他			
準備	デジタル教材			
学習過程	活動内容	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)	
Warm up 10分	○T: Hi, class! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字			
導入 5分	○MOVIE もう一度 MOVIE を見て、どんな質問をしているか、あいづちの打ち方など自分が確認したいところをチェックする。			
活動 10分	○友達と確認 どういう流れで話を持っていくかをグループ内で話し合いながら、お互いに英語を学習しあう。		◇グループの友達と協力し合っ て英語を練習して いる。	
活動 17分	○模擬交流 グループ内でペアを交えたりしながら話をする練習をする。		◇グループの友達と協力し合っ て英語を練習して いる。	
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.			

5年 Lesson 8 附属小以外の人とお話をしよう (3/3)				
単元の目標	既習事項を用いて、初めて合う人にも自分のことなどを紹介したり、相手に質問したりする活動を通して、既習事項を活用する技能を身に付け、積極的に自分のことを伝えようとする。			
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現			
自分の伝えたいことを伝え、よかったところや感想を話してもらう。	I'm ~. Nice to meet you. I like ~. I have ~. I can~. Do you have ~? How many ~? What ~do you like? ~ is great. What do you think? This is ~. It's ~. Do you like ~? Yes, I do. No, I don't. 他			
準備	デジタル教材			
学習過程	活動内容	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)	
Warm up 10分	○T: Hi, class! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字			
導入 10分	○交流 中学生、大学生、留学生、等を招待し、英語で交流をする。グループ、またはペアになって話をする。 *招待する中学生や、大学生等に話をひきだしてもらうように頼んでおく。 *英語を書いたものを持たせると、視線が下になり、話し合っている状況ではなくなるので、避ける。 *絵の手がかりを持つと話しやすい。 例 ペンドの絵に時間を置いておく、犬の絵 等	☆教師は全体を見回って必要なら手助けする。		
活動 10分	○交流 グループ、またはペアになって話をする。			
活動 12分	○振り返り *交流後にどんなことが話せたかをまとめ、感想を書く。			
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.			

5年 Lesson 9 場面を考えよう C.S. スキット (1/3)			
単元の目標	本時の目標		評価のポイント (◇)
	定型の表現を、場面に合わせて考えて考える活動を通して、同じ表現が異なる状況で使用されるとき 感情表現の違いに気づく。	本時で扱う主な言葉・表現	
既習の表現、またはよく使う表現が、どのような場面、状況で使われているかを学習し、自分たちでも特定の表現を状況に合わせて使ったスキットを作る。	What's this? It's ~. (既習) Sorry. That's OK. Can I ~? Go ahead. Thank you. 他既習の表現		
準備	デジタル教材		
学習過程	活動内容	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	
Warm up 10分	○T: Hi, class! T: How's it going? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	○表現をひとつひとつ確認する。 ○Can I ~ に絞れる表現が難しければ、Can I とだけ言って、ジェスチャーをすれば、相手が状況を察し手が状況を察して、Go ahead と言ってくれることが多い。	
導入 17分	○MOVIE ①What's this? It's ~. (既習) 特に強調するときは What is this? と省略形を使わない場合もある。 ②Sorry. That's OK. ③Can I ~? Sure. Go ahead. Thank you. についてのスキットを見て、どんな場面で行っているかを確認する。 *③は日本語的的に please を使ってしまうところだが please はこちらから ~ して欲しいと頼むときに使う表現。「ください」と言われて「どうぞ」と差し出すときは「Here you are.」「どうぞ」と相手に渡るときは「Go ahead.」「どうぞ」と言う日本語にとらわれずに、状況を考える。	○日本語で言った時どんな感じになるかも確認する。 ○必要なら他の表現も加えて良い。 ○同じ表現が異なる状況で使用されるときは感情表現を工夫する。	
活動 15分	○それぞれのスキットについてさらに学ぶ 同じ表現が、異なる状況で使われるときの感情表現の違いに気づく。		
活動 10分	○準備 教師は、3つの表現の中から1または2個を選択して、子どもに課題として出す。子どもはペア、又は少数のグループになり、スキット作りをする。		
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you. ~先生. Thank you. ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

5年 Lesson 9 場面を考えよう C.S. スキット (2/3)			
単元の目標	本時の目標		評価のポイント (◇)
	定型の表現を、場面に合わせて考えて考える活動を通して、同じ表現が異なる状況で使用されるとき 感情表現の違いに気づく。	本時で扱う主な言葉・表現	
自分たちで作成したスキットに関して、状況に合った感情などを考え、練習し、演じる準備をする。	What's this? It's ~. (既習) Sorry. That's OK. Go ahead. Thank you.		
準備	デジタル教材		
学習過程	活動内容	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	
Warm up 10分	○T: Hi, class! T: How's it going? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字	○基本表現に必要なら他の表現も加えて良いが、子どもが文字を見て演じたりしないように留意する。 *子ども達の状況に応じて使用する表現を選んでも良い。	
導入 10分	○発表の準備、練習 表現のおさらいなどをし、子ども達の状況に応じて使用する表現を選んでも良い。		
活動 10分	○発表の準備		◇同じ表現が異なる状況でどのように使用されるかを考え、積極的に工夫してスキットを考えている。
活動 12分	○発表 リハーサルをする。		○発表に向けて、自信が持てるよゆうな時間にあてる。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you. ~先生. Thank you. ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

(6) 6年生指導案

6年 Lesson 1 ゴミ出しの曜日を伝えよう (1/5)		
単元の目標	ゴミ出しのルールについて知らせる活動を通して、日本と外国でのゴミ出しのルールの違いに気づき、ゴミの種類、曜日や時刻を表す表現の技能を身に付け、積極的にゴミ出しのルールについて知らせようとする。	
単元の目標	ゴミ出しのルールについて知らせる活動を通して、日本と外国でのゴミ出しのルールの違いに気づき、ゴミの種類、曜日や時刻を表す表現の技能を身に付け、積極的にゴミ出しのルールについて知らせようとする。	
準備	絵本、デジタル教材、ゴミカルタカード	
学習過程	教師の支援(☆) 留意点(○) 評価のポイント (◇)	
Warm up 10分	<p>○T: Hi, class! How are you? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字 ○10 Things I Can Do to Help My World を読む。</p>	<p>○Warm up 10分の時間に過去形を入れていく。子どもが理解できないようなら、日本語で説明しながら、徐々に慣れさせる。(ALT に関してもらっても良い)</p>
導入 10分	<p>○MOVIE ごみ捨て short story 近所の外国人が、違う日にゴミを捨てようとしている。教えてあげたいが上手く英語で説明できないのようには言えればいいだろう。</p>	
活動 10分	<p>○どのように言えればいいか、考えてみよう。 子どもにも考えさせる 曜日は使えそう。時刻も言えそう。 ゴミは英語で何て言うんだろう。 ○MOVIE の読み ぐみの言い方 paper / (kitchen) garbage / plastic bottles / cans / milk cartons</p>	<p>*ごみの多くは複数形を使うので複数形のカードを使用する。</p>
活動 12分	<p>○ゴミカルタゲーム plastic bottles / cans / milk cartons / garbage / paper</p>	<p>◇ゴミの種類などを聞いてわかる。</p>
振り返り 3分	<p>○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.</p>	

5年 Lesson 9 場面を考えよう C.S. スキット (3/3)		
単元の目標	定型の表現を、場面に合わせて考える活動を通して、同じ表現が異なる状況で使用されるとき の感情表現の違いに気づく。	
単元の目標	定型の表現を、場面に合わせて考える活動を通して、同じ表現が異なる状況で使用されるとき の感情表現の違いに気づく。	
準備	デジタル教材	
学習過程	教師の支援(☆) 留意点(○) 評価のポイント (◇)	
Warm up 10分	<p>○T: Hi, class! T: How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と文字 ○発表</p>	
活動 20分	<p>○発表 どんな場面か、どこが面白いが感想を言い合う。</p>	<p>◇積極的に発表したり、ほかの人の発表に耳を傾けたりしている。</p>
活動 12分	<p>○発表 どんな場面か、どこが面白いが感想を言い合う。</p>	<p>◇同じ表現が異なる状況で使用されるときの違いの面白さに気づいている。</p>
振り返り 3分	<p>○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.</p>	

6年 Lesson 1 ゴミ出しの曜日を伝えよう (2/5)			
単元の目標	ごみ出しのルールについて知らせる活動を通して、日本と外国でのごみ出しのルールの違いに気づき、ごみの種類、曜日や時刻を表す表現の技能を身に付け、積極的にごみ出しのルールについて知らせようとする。		
単元の目標	本時の目標	言葉・表現	評価のポイント (◇)
	ゴミの分別の活動を通して、ゴミの分別の仕事 plastic bottles / cans / milk cartons / garbage / paper / plastic とその表現がわかる。 絵本、デジタル教材、ごみ絵カード	plastic bottles / cans / milk cartons / garbage / paper / steel / burnable / unburnable / recyclable	
準備	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
学習過程			
Warm up 10分	○T: Hi, class! How are you? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○音と数字 ○10 Things I Can Do to Help My World を読む。	○Warm up 10分の時間に過去形を入れていく。 子どもが理解できないようなら、日本語で説明しながら、徐々に慣れさせる。 (ALT に聞いてもらっても良い)	
導入 10分	○MOVIEの続き garbage on Monday. plastic bottles on Tuesday milk cartons on Wednesday. MOVIEの中で、教師とともに練習する。	○市町村によってゴミの分別法が異なることも教える。	
活動 10分	○復習 札幌市(函館、旭川、釧路)のゴミと捨てる曜日を調べながら、ゴミの言い方の練習をする。必要なら、新しい言葉も習得し練習する。 steel, glass	○steel, glass は逆接語彙	
活動 12分	○ゲーム 分別しよう ①5、6グループに分ける。 ②ゴミの絵カードと分別用の箱をグループ分用意して置いておく。 ③グループの先頭の子どもがカードの前に進み一枚とる。ゴミの絵前を言い、次に分別の絵がついた箱に入れる。 ④全員が終わったら確認する。	○ゴミの英語表現を言うように注意する。 ○burnable 「燃えるごみ」、unburnable 「燃えないごみ」、recyclable 「リサイクルできる」、は聞いて理解できればよい。	◇ゴミの種類を理解して英語で表現できる。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 1 ゴミ出しの曜日を伝えよう (3/5)			
単元の目標	ごみ出しのルールについて知らせる活動を通して、日本と外国でのごみ出しのルールの違いに気づき、ごみの種類、曜日や時刻を表す表現の技能を身に付け、積極的にごみ出しのルールについて知らせようとする。		
単元の目標	本時の目標	言葉・表現	評価のポイント (◇)
	ゴミ出しのルールについて知らせる活動を通して、日本と外国でのごみ出しのルールの違いに気づき、ごみの種類、曜日や時刻を表す表現の技能を身に付け、積極的にごみ出しのルールについて知らせようとする。	Monday ~ Friday / plastic bottles / cans / milk cartons / garbage / paper/ glass/ plastic / steel burnable/unburnable/recyclable	
準備	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
学習過程			
Warm up 10分	○T: Hi, class! How are you? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○Did you put out the trash this morning? ○音と数字	○Warm up 10分の時間に過去形を入れていく。 子どもが理解できないようなら、日本語で説明しながら、徐々に慣れさせる。 (ALT に聞いてもらっても良い)	
導入 10分	○ごみカレンダー作成 ○文字活動 曜日、ゴミの種類を英語で書き写し、ごみカレンダーを作る。	○最初にごみの種類や曜日で分別を決めるようにする。	◇グループで、英語のゴミだしカレンダー制作に協力しあっている。
活動 10分	○ごみカレンダー作成 ○文字活動 グループに分かれて曜日、ゴミの種類を英語で書き写し、ごみカレンダーを作る。		
活動 12分	○絵本を読み聞かせ 10 Things I Can Do to Help My World 子どもが読者のためにできることを話し合わせる。		○地球のために自分が身の回りでできることを知る。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 1 ゴミ出しの曜日を伝えよう (4/5)			
単元の目標	ごみ出しのルールについて知らせる活動を通して、日本と外国でのごみ出しのルールの違いに気づき、ごみの種類、曜日や時刻を表す表現の技能を身に付け、積極的にごみ出しのルールについて知らせようとする。		
本時の目標		語彙・表現	
曜日とゴミの種類を組み合わせて、分別の仕方を説明する Excuse me? Please put them out on Wednesday before 8:00.		Monday ~ Friday / steel / aluminum / plastic bottle / cans / milk cartons / garbage / burnable / unburnable / recyclable / before 8:00	
準備	絵本、デジタル教材、透明な袋、ごみ給カード、またははべットボトル牛乳パック等の本物		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! How are you? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○Did you put out the trash this morning? ○音と数字	○Warm up 10分の時間に過去形を入れていく。 子どもが理解できないようなら、日本語で説明しながら、徐々に慣れさせる。(ALTに聞いても構わない)	
導入 10分	○MOVIEの続き ゴミの捨て方を言う時何ていえばいいんだろう。続きのMOVIEを見てみよう。 Excuse me? Please put them out on Wednesday before 8:00. MOVIEの中で、講師とともに練習する。		
活動 10分	○誰が何を言うかが明確になるよう必ずゴミ袋を使って会話を進める。 ○練習 グループでゴミを捨てる人と説明する人と役割を決めて練習する。	○誰が何を言うかが明確になるよう必ずゴミ袋を使って会話を進める。	◇役習練習に積極的に参加している。
活動 12分	○絵本を読み聞かせ 10 Things I Can Do to Help My World	○地球のために自分が身の回りでできることを知る。	
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 1 ゴミ出しの曜日を伝えよう (5/5)			
単元の目標	ごみ出しのルールについて知らせる活動を通して、日本と外国でのごみ出しのルールの違いに気づき、ごみの種類、曜日や時刻を表す表現の技能を身に付け、積極的にごみ出しのルールについて知らせようとする。		
本時の目標		語彙・表現	
曜日とゴミの種類を組み合わせて、分別の仕方を説明する Monday ~ Friday / steel / aluminum / plastic bottle / cans / milk cartons / garbage / burnable / unburnable / recyclable / before 8:00		Monday ~ Friday / steel / aluminum / plastic bottle / cans / milk cartons / garbage / burnable / unburnable / recyclable / before 8:00	
準備	絵本、デジタル教材、透明な袋、ごみ給カード、またははべットボトル牛乳パック等の本物		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○F: Hi, how are you? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What day of the week is it today? ○What's the date today? ○Did you put out the trash this morning? ○音と数字	○Warm up 10分の時間に過去形を入れていく。 子どもが理解できないようなら、日本語で説明しながら、徐々に慣れさせる。(ALTに聞いても構わない)	
導入 10分	○ゴミ出しゲームの準備 ①クラスをA, B2グループに分ける。さらに、2, 3人ずつのチームを作る。 ②ゴミ捨てグループAはチームごとに何を捨てるかを考える。英語で話しかけられた時の反応も考える。 ③英語説明グループBはいろいろな場合を想定し、英語の練習をする。 ④ゴミ捨て、英語説明のマッチングの発表はは直前に行う。	○ゲームの準備 ①クラスをA, B2グループに分ける。さらに、2, 3人ずつのチームを作る。 ②ゴミ捨てグループAはチームごとに何を捨てるかを考える。英語で話しかけられた時の反応も考える。 ③英語説明グループBはいろいろな場合を想定し、英語の練習をする。 ④ゴミ捨て、英語説明のマッチングの発表はは直前に行う。	○ゲームの種類は子どもの様子を見て押えたほうがよい。 ○この通りでなく、下線ともよいので、下線の部分を中心に言えるようにしたい。
活動 10分	○ゴミ出しゲーム ①A1がゴミを捨てようとする。くじで当たったB1グループが英語で協力して説明する。 B: Hi. A: Hi. B: How are you? A: Good. B: Excuse me, plastic bottles on Wednesday. Please put them out on Wednesday before 8:00. A: Thank you. B: You're welcome.		○ゴミの種類は子どもの様子を見て押えたほうがよい。 ○この通りでなく、下線ともよいので、下線の部分を中心に言えるようにしたい。
活動 12分	○絵本を読み聞かせ 10 Things I Can Do to Help My World グループに分かれて子どもだけで読んでみる。		
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 2 物語を読もう (1/3)			
単元の目標	"The Detective Boys"の読み聞かせを聞く活動を通して、文字と音と文字のつながりに気付く、物語の内容について英語で尋ねたり、答えたりする表現の技能を身に付け、あらすじを理解することができる。		
準備	デジタル教材、文字カード	語彙・表現	twelve, soccer, detective, friend, at school, every day, dropped, tail, look like, I'm ~, I like ~, He was wearing ~, He likes ~, He's gone.
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(◇)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, how are you? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○Did you read a book last night? What did you read? ○音と文字 ○復習 He is wearing a red T-shirt and green pants. の言い方を復習する。教師などの服装を例にあげて良い。 ○MOVIE The Detective Boys (文字なし、色なし) 子どもに大体のあらすじを確認する。 間違っていないか確認する。 出た意見をきとめることもしない。 子どもにも聞き取れた単語を質問する。 わからなかった単語、文等も聞く。	○文の意味を言うのではなく全体の内容を確認する。 ○わからなかったところの意味はまた言わない。	
導入 10分			
活動 10分	○MOVIE The Detective Boys (文字、色なし) 1 回目は分からなかったけれど、2 回目見てわかったことを子どもにも聞く。 新たに聞き取れた単語を質問する。	上記と同じ	
活動 12分	○MOVIE The Detective Boys (文字、色なし) 3 回目 グループで話し合い、さらに、理解できたことを発表する。	○PW ○ここでも文の意味を言うのではなく全体の内容を確認する。	◇積極的にお話しの内容を理解しようとする。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生。 Thank you, ~先生。 H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 2 物語を読もう (2/3)			
単元の目標	"The Detective Boys"の読み聞かせを聞く活動を通して、文字と音と文字のつながりに気付く、物語の内容について英語で尋ねたり、答えたりする表現の技能を身に付け、あらすじを理解することができる。		
準備	デジタル教材、塗り絵	語彙・表現	twelve, soccer, detective, a friend, at school, every day, dropped, tail, look like, I'm ~, I like ~, He was wearing ~, He likes ~, He's gone.
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(◇)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, how are you? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○Did you read a book last night? What did you read? ○音と文字 ○MOVIE The Detective Boys (文字、色なし) ①文字カードの意味と読みを確認し、グループに一枚ずつ渡す。4 回目 twelve soccer want to be detective a friend at school every day dropped look like tail was wearing there		
導入 10分			
活動 10分	○MOVIE The Detective Boys (文字なし、色なし) 子どもは、渡された文字カードが読まれたら、その文字カードを挙げるようにする。5 回目 ○MOVIE The Detective Boys (文字、色なし) 白黒の絵を配布し、子どもに色塗りをさせる。6 回目	○色について集中しながら聞く。	
活動 12分	○MOVIE The Detective Boys (文字、色あり) が出しながら読む。最後の絵を見せて本物の少年をみんなで見つめる。7 回目		○短い文帯は、あえて見て読まずに覚えて読んでみよう。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生。 Thank you, ~先生。 H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 2 物語を読もう (3/3)			
単元の目標	本時の目標	語彙・表現	
"The Detective Boys"の読み聞かせを聞く活動を通して、文字と音と文字のつながりに気づき、物語の内容について英語で尋ねたり、答えたりする表現の技藝を身に付け、あらすじを理解することができる。	twelve, soccer, detective, a friend, at school, every day, dropped, tall, look like, I'm ~, He was wearing ~, He likes ~, He's gone.		
準備	デジタル教材	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)
学習過程	準備	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)
Warm up 10分	○T: Hi, how are you? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○Did you read a comic book last night? ○音と文字	○T: Hi, how are you? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○Did you read a comic book last night? ○音と文字	○文の意味を言うのではなく全体の内容を確認する。
導入 10分	○MOVIE The Detective Boys (文字、色あり) 皆で一緒に読むお話の内容を最終的に確認する。8回目	○MOVIE The Detective Boys (文字、色あり) 皆で一緒に読むお話の内容を最終的に確認する。8回目	◇根拠的にお話の内容を理解しようとしている。
活動 10分	○MOVIE The Detective Boys (文字、色あり) 二人ペアになり、Tom と Jim になって読んで読んでみる。9回目	○MOVIE The Detective Boys (文字、色あり) 二人ペアになり、Tom と Jim になって読んで読んでみる。9回目	◇ペアで協力しあって役になりきってお話を読んでいく。
活動 12分	○MOVIE The Detective Boys (文字、色あり) 何組かのペアが演じてみる。(本を読みながらでもよい) 10回目	○MOVIE The Detective Boys (文字、色あり) 何組かのペアが演じてみる。(本を読みながらでもよい) 10回目	
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.	

6年 Lesson 3 海外の人を日本食でおもてなし (1/5)			
単元の目標	本時の目標	語彙・表現	
海外の人をもてなす活動を通して、日本食は世界遺産であることやそのよさや価値に気づき、既習事項や言い換えを活用して、積極的に日本食について説明しようとする。	日本語の味や材料の言い方を学習する。	食物関連語	別紙参照
準備	デジタル教材、文字カード	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)
学習過程	準備	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)
Warm up 10分	○T: Hi, class! How are you? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○Did you have Japanese food last night? ○音と文字	○T: Hi, class! How are you? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○Did you have Japanese food last night? ○音と文字	○味の説明をするときは表情が大切である。英語を忘れても、表情だけで通じる場合もある。
導入 10分	○この課のテーマを伝える。 代表的な日本食の例をみんなまで考える。	○この課のテーマを伝える。 代表的な日本食の例をみんなまで考える。	
活動 10分	○PWP *音声がクリック必要 ①味の言い方を復習する。(salty, sweet, sour, bitter, spicy, hot) *それぞれの味の料理の例を子どもに出せるとよい。 すき焼き、おでん、等 ②ラーメンを3種類出して soy-sauce flavored, miso-flavored salt-flavored 等の味の言い方を練習する。 *つい、~taste と言ってしまいが、taste は動詞でしか使わない。flavored の使い方を覚えると、日本食、特にデザートやラーメンなどに使える。 正しくは~flavored 子どもが flavor と言ってしまっても厳密に修正する必要はないが教師は正しく使う。 *coffee flavored は日本独自のものもある。	○PWP *音声がクリック必要 ①味の言い方を復習する。(salty, sweet, sour, bitter, spicy, hot) *それぞれの味の料理の例を子どもに出せるとよい。 すき焼き、おでん、等 ②ラーメンを3種類出して soy-sauce flavored, miso-flavored salt-flavored 等の味の言い方を練習する。 *つい、~taste と言ってしまいが、taste は動詞でしか使わない。flavored の使い方を覚えると、日本食、特にデザートやラーメンなどに使える。 正しくは~flavored 子どもが flavor と言ってしまっても厳密に修正する必要はないが教師は正しく使う。 *coffee flavored は日本独自のものもある。	○味の説明をするときは表情が大切である。英語を忘れても、表情だけで通じる場合もある。
活動 12分	○語彙練習 ①いろいろな日本食の材料を写真で見せて、必要な単語を練習する。 ②教師は材料の名前を英語で言い、子どもは料理名を当てる。 T: Onion, egg, soy sauce-flavored. What's this? S: Soyabaki! ③教師は、料理の写真を見せ、子どもは材料の名前を英語で言う。 C: 振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.	○語彙練習 ①いろいろな日本食の材料を写真で見せて、必要な単語を練習する。 ②教師は材料の名前を英語で言い、子どもは料理名を当てる。 T: Onion, egg, soy sauce-flavored. What's this? S: Soyabaki! ③教師は、料理の写真を見せ、子どもは材料の名前を英語で言う。 C: 振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.	
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.	

6年 Lesson 3 海外の人を日本食でおもてなし (2/5)			
単元の目標	海外の人をもてなす活動を通して、日本食は世界遺産であることやそのよきや価値に気づき、既習事項や言い換えを活用して、積極的に日本食について説明しようとする。		
本時の目標	言葉・表現		
準備	デジタル教材、文字カード	食物関連語 Do you like it? Have you ever eaten it? It's hot(cold)	別紙参照
学習過程	活動内容(○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント(△)
Warm up 10分	○T: Hi, class! How are you? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○Did you have Japanese food last night? ○音と文字		
導入 5分	○材料で料理あてクイズ 教師は料理の写真をグループの旗だけ選び、子どもはグループになって1点を選択する。(何を選んだかは他のグループに知られないようにする) It's a hot(cold). Do you like it? Have you eaten it? などの表現をここで学習しても良い。		
活動 10分	○練習 子どもたちはグループで選んだ料理の材料を英語で言う練習をする。	○教師はわからぬ言葉やアドバイスを促す。	○グループで協力して考えている。
活動 17分	○料理あてっこゲーム グループで順番を決め、協力して発表する。 A: Eggs, some vegetables, <i>kamryaku</i> soy-sauce flavored, It's hot. What's this? B: It's oden. A: You're write. It's oden. Do you like it? B: Yes, I do.		○協力して発表している ○積極的に答えている。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 3 海外の人を日本食でおもてなし (3/5)			
単元の目標	海外の人をもてなす活動を通して、日本食は世界遺産であることやそのよきや価値に気づき、既習事項や言い換えを活用して、積極的に日本食について説明しようとする。		
本時の目標	言葉・表現		
準備	デジタル教材、文字カード	食物関連語	別紙参照
学習過程	活動内容(○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント(△)
Warm up 10分	○T: Hi, class! How are you? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○Did you have Japanese food last night? ○音と文字		
導入 10分	○説明のしかたを考えよう① This is <i>sukiyaki</i> ! ○料理の名前を言う。 ②材料を英語で言う。 This is beef. This is tofu. This is an onion. This is a green onion. This is <i>shiragiku</i> . It's a kind of vegetables. It's a little bitter. This is an egg. It's soy-sauce flavored. ○すしの説明 グループで考えて、1、2グループが発表する。 This is <i>sushi</i> . This is rice. It has vinegar. This is tuna. This is salmon. This is soy-sauce. This is <i>wasabi</i> . It's very hot. ○説明のしかたを考えよう② 入っているものを説明する場合はIt has ~.を使う。 This is <i>misosoup</i> . This <i>misosoup</i> has seaweed, carrots and <i>daikon</i> . <i>Daikon</i> is a vegetable. It's like a <i>radish</i> . ○説明のしかたを考えよう③ It's hot. (熱い) It's cold. (冷たい) ○豚汁の説明 グループで考えて、1、2グループが発表する。 This is <i>butajiru</i> . It has pork, potatoes, carrots, green onions and others. It's <i>misu</i> flavored. It's hot. ○その他の説明 言い換えに通じる表現 ①どちら向きに傾いているものとして <i>pancake</i> It's like a <i>pancake</i> (この部分は英語の料理名) ②材料、特徴等考えられる英語を添えて文にする。 [bean jam] [flour] [small] [Doraeemon] 参考文を参照	○最初の例は単語を並べるだけでよいものにする。 ○わさびなど日本語でよいものもあるが、味などの特徴を付け足すとよい。	
活動 10分			
活動 12分			○子どもに質問しながら答えを引き出すようにする。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 3 海外の人を日本食でおもてなし (4/5)			
単元の目標	海外の人をもちてなす活動を通して、日本食は世界遺産であることやそのよさや価値に気づき、既習事項や言い換えを活用して、積極的に日本食について説明しようとする。		
本時の目標		活発・表現	別紙参照
ALT の先生のために日本食のメニューを考える。		This is ~, It's ~, 食物関連語 Have you ever eaten it? Do you like it? Do you want to eat it? healthy	
準備	デジタル教材、様選紙、マーカー、定規		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	<p>○T: Hi, class! How are you? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you.</p> <p>○What's the date today? ○Did you have Japanese food for breakfast this morning? What did you have? <i>Natto? Tofu? Miso soup?</i> ○音と文字</p> <p>○発表の準備 教師のデモンストレーションを見せる。 写真を見せながら This is <i>shirataki</i>. This is beef. This is green onion. This is <i>shirataki</i> noodle. It has no taste. It's healthy. This is an egg. It's soy-sauce flavored. You eat it like this.(例につけるまねをしながら) Have you ever eaten it? Do you want to eat it?</p>	<p>○料理の説明以外の表現も学習する。 Have you ever eaten it? は文法の説明はしない。「食べたことありますか?」と意味だけを言っただけを練習する。 ○小学校では、基本を学ぶため、教師が提示した中から選んだほうがよい。 ☆教師はアドバイスする。</p>	◇グループ単位で工夫して、表現を考える。
導入 10分	グループに分かれて教師が提示したものの中から成立を考える。前の時間で説明したものを含めて、3、4品選ぶ。全体でバランスよく、英語の表現を考えながら決める。どのように資料を作成するか考える。(写真、絵、文字) 食べる際の食べ方、マナー等をジェスチャーで表現する。		
活動 10分	発表の準備 グループで話し合い、発表の仕方を考え練習する。		
活動 12分	発表の準備 グループで話し合い、発表の仕方を考え練習する。		
振り返り 3分	振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 3 海外の人を日本食でおもてなし (5/5)			
単元の目標	海外の人をもちてなす活動を通して、日本食は世界遺産であることやそのよさや価値に気づき、既習事項や言い換えを活用して、積極的に日本食について説明しようとする。		
本時の目標		活発・表現	別紙参照
ALT の先生のために自分たちで考えたおもてなしの日本食の紹介をする。		This is ~, It's ~, healthy 食物関連語 別紙参照	
準備	デジタル教材、発表用資料		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	<p>○T: Hi, class! How are you? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you.</p> <p>○What's the date today? ○What did you have for breakfast this morning? ○音と文字</p> <p>○発表 ALT の先生へ日本食のすばらしさを伝える。 Let me show you some Japanese food. This is ~. It's healthy. Do you like them? Do you want to eat them? Have you ever eaten ~?</p>	<p>○わかりやすく、はつきりと大きな声で発表し、表情、ジェスチャーも気を付けるように呼びかける。</p>	◇積極的に発表する。
活動 25分	ALT の先生へ日本食のすばらしさを伝える。 Let me show you some Japanese food. This is ~. It's healthy. Do you like them? Do you want to eat them? Have you ever eaten ~?		
活動 7分	ALT の感想 ALT が一番食べたいと思った飯屋を言ってもらっても良い。 ALT の国の食べ物について話してもらおう。		
振り返り 3分	振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 4 日本を紹介しよう (1/5)			
単元の目標	外国人に日本を紹介する活動を通して、日本と外国の文化や行事等の違いに気付く、既習事項や言い換えを活用して、積極的に日本について伝えようとする。	本時の目標	言葉・表現
日本の伝統的な行事、遊びなどについて話し合い、説明する練習をする。	warm, heater, wood, shoes, hotel, schoolbag, backpack, textbook, summer, cool, bell, mountain, rubber stamp, signature, banknote, tea, old Japanese art, 等	デジタル教材, Crossword puzzle, 表現例	
準備	デジタル教材, Crossword puzzle, 表現例	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)
学習過程			評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! How're you doing? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What did you do on summer vacation? Where did you go? Did you go to your grandparents' house? Did you go to Disneyland? ○What's the date today? ○音と文字		
導入 10分	○導入 外国の人に伝えたい、日本の伝統的な行事、日本の遊び文化について話し合う。自分が経験している物、身近なものに限定する。		◇積極的に話し合いに参加している。
活動 10分	○例示 (2, 3例) 御玉を例にとる 想像できる言葉を考える 御玉は何のために使うか? 何からできているか? 英語で言えるものをあげる wood, old toy, 筆を例にとる after school, students, study. ○語彙練習 (日本文化を説明する言葉) 一方に日本文化の代表例の写真 げた こげし, 温泉, ランドセル, ちようちん 他方に素材の写真 table, warm, heater, wood, shoes, hotel, schoolbag, backpack, textbook, summer, cool, bell, mountain, beautiful, snow, stamp, signature, banknote, tea, 等の文化にどの素材が当てはまるかを考えながら、英語を渡し、練習する。	○子どもの考えをひきだす。 ○別紙参照	
活動 12分			☆これ以後毎分時間 素材を表す言葉を 黒板に貼る。
振り返り 8分	○振り返り H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 4 日本を紹介しよう (2/5)			
単元の目標	外国人に日本を紹介する活動を通して、日本と外国の文化や行事等の違いに気付く、既習事項や言い換えを活用して、積極的に日本について伝えようとする。	本時の目標	言葉・表現
日本の伝統的な行事、遊びなどについて語彙だけを使っ て発表し、当てたりするゲームを行いながら語彙の練習 をする。	warm, heater, wood, shoes, hotel, schoolbag, backpack, textbook, summer, cool, bell, mountain, rubber stamp, signature, banknote, tea, old Japanese art, 等	デジタル教材, Crossword puzzle, 表現例	
準備	デジタル教材, Crossword puzzle, 表現例	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)
学習過程			評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! How're you doing? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What did you do on summer vacation? Where did you go? Did you go to your grandparents' house? Did you go to Disneyland? ○What's the date today? ○音と文字		
導入 7分	○あつて子ゲーム ① 下座の中から一つをグループに選ぼせる。 風鈴, こいのぼり, 普通, ひなまつり, 富士山 茶道, さぶとん, こたつ, ゆかた ② 当てはまる単語を考え練習する sound, bell, summer, festival, children, May, carp Japanese, letters, black ink, brush, old, mountain, tall, culture, enjoying, soft, sitting, warm, table, blanket, heater, girls, doll, March		○選んだものが他の チームには分かんないようにする。 ☆説明のための語彙も黒板に貼っておく。
活動 10分	○練習 当てはまる単語を考え、グループで発表する準備をする。		☆語彙や発音をア トバイスする。
活動 15分	○発表 グループで発表し合い、お互いに当て合う。 ① B: Dolls, festival, girls, March 9 th . What's this? A: Is it <i>Hinamatsuri</i> ? B: You're right. It's <i>Hinamatsuri</i> . E: Is it <i>geta</i> ? F: I don't think so. I think it is <i>zori</i> . D: The answer is <i>geta</i> . A, you're right.		○ヒントの単語の 絵を、子どもたちに見せながら行う かは子どもの理解 度を見て考える。 ○全員が参加できる ように留意する。
振り返り 3分	○振り返り H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 4 日本を紹介しよう (3/5)

単元の目標	外国人に日本を紹介する活動を通して、日本と外国の文化や行事等の違いに気付く、既習事項や言い換えを活用して、積極的に日本について伝えようとする。	
	本時の目標	語彙・表現
	文を使って紹介する練習をしたり、児童間で英語の発表を聞き合ったりして表現の練習を高める。	warm, heater, wood, shoes, hotel, schoolbag, backpack, textbook, summer, cool, bell, mountain, rubber stamp, signature, banknote, tea, old Japanese art, etc. It's ~. It's for ~. It has ~. It's made of-. It's like (a) ~.
準備	デジタル教材	
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)
Warm up 10分	<p>○T: Hi, class! How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you.</p> <p>○What did you do during summer vacation? Where did you go? Did you go to your grandparents' house? Did you go to Disneyland? ○What's the date today? ○音と文字</p>	
導入 7分	<p>○教師のモデル 教師は、今まで学習した語彙や文を使って説明するモデルを見せる。 It's ~. It's for ~. It has ~. It's like ~. It's made of ~. It's a kind of ~. を使った文を見せながら、例を示す。 * 日本紹介例 参照 It's a Japanese old toy. It's made of wood. It's a kind of shoes. It's made of wood. It's for yukata It's a kind of festival. It's for girls. It's doll's festival</p>	<p>☆素材を表す語彙を黒板に貼っておく。 ○やさしい文型から始めて、だんだん難しい文型へと練習を段階的に行う。</p>
活動 12分	<p>○練習 教師は、それぞれの例文を示すとともに子どもたちに練習させながら進める。</p> <p>○練習 練習の成果を見るために何グループかに発表させてもよい。</p>	<p>○説明だけに終わらないように子どもにも練習させながら行う。</p>
振り返り 3分	<p>○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.</p>	

6年 Lesson 4 日本を紹介しよう (4/5)

単元の目標	外国人に日本を紹介する活動を通して、日本と外国の文化や行事等の違いに気付く、既習事項や言い換えを活用して、積極的に日本について伝えようとする。	
	本時の目標	語彙・表現
	日本の伝統的な行事、遊びなどを外国人 (ALT, JICA, 留学生など) に簡単な英語で伝えることを想定し、紹介したい内容を考える。さらに既習表現を使用し、どのように伝えるかを考える。	rubber stamp, signature, backpack, carp, dolls, heater, lantern, wet, wood, fall, spring, winter, summer, cool, warm, cold hot, toys, old Japanese art, world heritage site, children, girls, boys, men, women, It's ~. It's for ~. It has ~. It's made of-. It's like (a) ~. It's a kind of ~.
準備	デジタル教材, 発造紙, 発表用資料	
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)
Warm up 10分	<p>○T: Hi, how're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you.</p> <p>○What's the date today? ○What did you do during summer vacation? Where did you go? Did you go to your grandparents' house? Did you go to Disneyland? ○音と文字</p>	
活動 10分	<p>○準備 何を発表するかを決める。 * 2週間目発表したものと同じものでもよいが、できるだけ文を使って説明するように指示する。 * 教師はその他の選取を取らせる。 教師が与えたものの意外な選択しようとするなら、学習した範囲内で説明が可能かどうかをききわめて支援する。</p>	<p>☆素材を表す語彙を黒板に貼る。 ○小学校では基本を学ぶことが大切なので、子どもの選取に制限をかけることも必要。</p>
活動 10分	<p>○準備 グループに分かれて準備を開始する。 英語の表現を考えながら全体を決め、どのように資料を作成するかを考える。(写真、絵、文字を使う)</p>	
活動 10分	<p>○準備 グループで話し合い、発表の仕方を考え練習する。 出来上がったところは、他のグループに見てもらって、アドバイスをもらっても良い。</p>	
振り返り 3分	<p>○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.</p>	<p>◇班で協力して練習している。</p>

6年 Lesson 4 日本を紹介しよう (5/5)			
単元の目標	本時の目標	語彙・表現	
外国人に日本を紹介する活動を通して、日本と外国の文化や行事等の違いに気づき、既習事項や新しい語彙を活用して、積極的に日本について伝えようとする。	日本の伝統的な行事、遊びなどを外国人 (ALT、JICA、留学生など) に簡単な英語で伝える。	rubber stamp, signature, backpack, carp, dolls, heater, lantern, wet, wood, fall, spring, winter, summer, cool, warm, cold hot, toys, old Japanese art, world heritage site, children, girls, boys, men, women It's ~. It's for ~. It has ~. It's made of ~. It's like (a) ~. It's a kind of ~.	
	準備	デジタル教材、発表用の資料	
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, how're you doing? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○What did you do during summer vacation? Where did you go? Did you go to your grandparents' house? Did you go to Disneyland? ○音と文字 ○発表 できれば、ALT、留学生、他の海外からのゲストを対象に発表する。 英語で簡単な感想を言ってもらおう。		
活動 10分	○発表 ビデオに撮り、ウェブ上にアップして、海外の子どもの交流の手段としてもよい。(snowman)		◇協力して発表できる。
活動 10分	○発表		◇協力して発表できる。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生。 Thank you, ~先生。 H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 5 物語の続きを書こう (1/5)			
単元の目標	本時の目標	語彙・表現	
"The Lonely Monster"を説き活動を通して、登場人物の特徴に気づき、既習の表現を活用して、積極的に絵本の続きを言おうとする。	物語 Part1 の読み聞かせを聞き、英語の質問に答えたことにより内容を理解する。	lives in, a kind of, always, everything, touch, turns to ~	
	準備	デジタル教材	
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, how're you doing? C: Good. (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○What did you do last night? Did you read a book? Did you watch TV? ○音と文字 ○MOVIE(文字なし) Lonely Monster (文字なし)を読み聞かせる。わかったところ、わからなかったところを子どもに質問する。 *余休を見定めてから、Partごとに分けて内容を確認しても良い。 ○内容説明 He is made of ice.(ice のところを変える)6年 L2.3.4 It looks like snow.(snow のところを変える)5年 L4 * Everything he touches freezes.は簡単に意味を言うだけにする。	○一字一句訳をする必要はない。 ○級書せずに口頭で練習するのがよい。	◇英文を理解して答えるようとしている。
活動 10分	○MOVIE (文字なし) を聞く 内容を確認する。 Where does he live? (Does he live in a big country?) What's his name? What color is he? (Is he red?) What does he like? (Does he like tea?) What happens when he touches something? (When he touches something, does it melt?) Why is he lonely? (Is he happy?) What does he like? ○MOVIE (文字なし) もう一度読む。 内容を確認する。		◇疑問詞の疑問文が難しければ、Yes, No question に答える。ジェスチャーが使えるところは文とともにも使う。例目を指して Does he have black eyes?
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生。 Thank you, ~先生。 H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 5 物語の続きを書こう (2/5)			
単元の目標	本時の目標		評価のポイント (◇)
"The Lonely Monster"を認む活動を通して、登場人物の特徴に気づき、既習の表現を活用して、積極的に絵本の続きを書こうとする。	One day, saw, Can I have ~?, frozen, lips, chocolate, with~, gone		
準備	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	
物語 Part1 をもう一度聞き、内容を復習する。次に Part 2 の読み聞かせを聞き、英語の質問に答えたりすることによって内容を理解する。	デジタル教材		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, how're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○What did you do last night? Did you read a book? Did you watch TV? ○音と数字 ○MOVIE (文字なし)		
導入 5分	○結まの内容の確認 Who did Icy see? (Did Icy see ~ sensei?) What's her name? What was she made of? (Was she made of milk?) What did she have with? (Did she have coffee?) What happened to the cocoa? (Did it turn into hot cocoa?) Was he happy? ○MOVIE (文字なし)もう一度読む。 内容を確認する。		
活動 13分	○MOVIE (文字なし)もう一度読む。 *音読を一緒にしても良い。 内容を確認する。 Who did Icy see? (Did Icy see ~ Taro?) What's his name? What was he made of? (Was he made of bananas?) What did he have with? (Did he have a dog?) What happened to the noodles? (Did it turn into spaghetti?) Was he happy? ○MOVIE (文字なし)もう一度読む。 内容を確認する。	○疑問詞の疑問文が難しければ、Yes, No question に変える。 内容の共通性が多いので、理解が早いはず。	◇英文を理解して答えようとしている。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生。 Thank you, ~先生。 H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 5 物語の続きを書こう (3/5)			
単元の目標	本時の目標		評価のポイント (◇)
"The Lonely Monster"を認む活動を通して、登場人物の特徴に気づき、既習の表現を活用して、積極的に絵本の続きを書こうとする。	A few days later, lonely, noodles, hair, cool		
準備	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	
物語 Part 1, 2 をもう一度聞き、内容を復習する。次に Part 3 の読み聞かせを聞き、英語の質問に答えたりすることによって内容を理解する。	デジタル教材		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, how're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○What did you do last night? Did you read a book? Did you watch TV? ○音と数字 ○MOVIE (文字なし) *一緒に音読する		
導入 5分	○MOVIE (文字なし)もう一度読む。 *一緒に音読する 全体の内容を確認する。		
活動 10分	○The Lonely Monster の続きを考えて、絵とともに書く準備に入る。 *次ページを参照。_____にはいる語彙を考えるだけではない。 ○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生。 Thank you, ~先生。 H(A): You're welcome. Have a nice day.	○疑問詞の疑問文が難しければ、Yes, No question に変える。 ○教師は子どもが考えた内容の英語の単語を次の授業が始まる前にビクトリアオオカミに入れる。	◇英文を理解して答えようとしている。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生。 Thank you, ~先生。 H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 5 物語の続きを書こう (4/5)			
単元の目標	"The Lonely Monster"を読む活動を通して、容易人物の特徴に気づき、既習の表現を活用して、積極的に絵本の続きを書こうとする。		
準備	本時の目標 全体をもう一度聞き、内容を復習し、物語の続きを絵を 描くとともに考えて書く。		
学習過程	デジタル教材、絵の原本の一部をコピー	活動内容(○)	教師の支援(☆) 留意点(○)
評価のポイント	(◇)		
Warm up 10分	<p>○T: Hi, how're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○What did you do last night? Did you read a book? Did you watch TV? ○音と数字</p> <p>○MOVIE (文字あり) *一緒に音読する。</p>		
導入 10分			
活動 10分	<p>○物語の続きを書く。(絵も描く) 一人で書く(描く)のか、グループにするのか、子どもの状況を考えて決める。</p>	<p>○グループ製作で 一人一冊の絵本を 作る場合は、描いた 絵をグループの 人数分コピーする ことも考える。</p>	<p>◇物語の続きを 考え、書こうと している。</p>
活動 12分	<p>○子どもは_____の部分だけ書く(ワークシート) One day he saw a monster with _____ His (her) name was _____ He(She) was _____ He(She) was made of _____ "What's this?" said the lonely monster. "_____," he said.</p>	<p>○_____の 部分にいれる単語 を考える習字体の 部分は少々整えて も良い。</p>	<p>◇文字を見なが ら書き写そうと している。</p>
振り返り 3分	<p>○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.</p>		

6年 Lesson 5 物語の続きを書こう (5/5)			
単元の目標	"The Lonely Monster"を読む活動を通して、容易人物の特徴に気づき、既習の表現を活用して、積極的に絵本の続きを書こうとする。		
準備	本時の目標 デジタル教材、子どもが描いた絵本の一部 できるだけ既習の表現を使う。		
学習過程	デジタル教材、子どもが描いた絵本の一部	活動内容(○)	教師の支援(☆) 留意点(○)
評価のポイント	(◇)		
Warm up 10分	<p>○T: Hi, how're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○What did you do last night? Did you read a book? Did you watch TV? ○音と数字</p> <p>○MOVIE (文字あり) *一緒に音読する。</p> <p>○練習 ①子どもは自分が書いたものを読む練習をする。 ②自分が書いたものに加えて全体をもう一度読む。</p>		
導入 10分			
活動 10分	<p>○発表 子どもの描いたものを、みんなに見せながら発表する。 感想を英語で言ってもよい。5年1.5を参考にする。</p> <p>I think it's interesting. I don't think so. It's cute. I like it. I think it's like a ghost. It's scary. I think so too.</p>	<p>○グループ製作 の場合、協力し 割り当てて読む。</p>	<p>◇協力して発表 しようとしてい る。</p>
活動 12分	<p>○発表 協力して書いた場合は、同じ内容で、各人それぞれ一冊 の本を作るかを考えても良い。 *時間があれば、両顔の子どもが作成した [ey] のお友達 編 MOVIEを見せても良い。</p>		
振り返り 3分	<p>○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.</p>		

6年 Lesson 6 行ってみたい外国は (1/5)		授業・表現	
単元の目標	自分が行きたい国について伝え合う活動を通して、世界の様々な国の生活の様子の違いに気づき、国や地名を表す単語や、既習事項を用いて、積極的に行ききたい国とその理由を伝え合おうとする。	本時の目標	The United States / America, France, India, Korea, China, Italy etc. This is America. This is France. Where do you want to go? I want to go to ~.
準備	デジタル教材、塗り絵用の地図(データを印刷)、 国名(文字)カード、国旗カルタ、国フラッシュカード、世界地図(各校で用意)	教師の支援(★)	評価のポイント (◇)
学習過程	活動内容 (○)	留意点(○)	
Warm up 10分	○T: Hi, how're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○What time did you get up this morning? ○What time did you go to bed last night? ○音と文字		
導入 10分	○知っている国はどれ? 白地図を配布し、世界地図を見せながら、子どもは知っている国を挙げて、その位置を地図で確認しながら、色を塗る。(色塗り時間は時間がかかるので大幅に短縮するか、やめるか、宿題にしても良い) *ALT がいれば、国の名前を英語で発音する。	○国名を音と文字で聞かせ、日本語と英語の発音やアクセントの違いから、言葉に興味をもたせられるようにする。	
活動 10分	○PWP 国旗と国名を練習する。 The United States / America, France, India, Canada, Australia, China, Italy, Korea, Egypt The U.K. 他 Where do you want to go? I want to go to ~. の練習をする。	○I want to と I wanna 発音は異なるが、意味は同じ。後者は合衆国、カナダ等で使われる。教材では、前者を中心にどちらも扱っている。	
活動 12分	○カードゲーム 国旗と国名(文字)を神経衰弱で練習する。 黒板にフラッシュカードを貼っておき、子どもは文字と国旗を確認しながら行う。 ①4, 5人のグループになる。 ②国旗と国名は別々におく。 ③先に国名を開き英語で言う。(グループで助け合っても良い)	○カルタを通して、国旗や国の英語の名前に慣れ親しむようにする。	◇積極的に活動に参加する。
振り返り 3分	○振り返り H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 6 行ってみたい外国は (2/5)		授業・表現	
単元の目標	自分が行きたい国について伝え合う活動を通して、世界の様々な国の生活の様子の違いに気づき、国や地名を表す単語や、既習事項を用いて、積極的に行ききたい国とその理由を伝え合おうとする。	本時の目標	What do you want to eat? I want to eat ~. What do you want to see? I want to see ~. (The U. S. A.)The United States of America, France, India, Canada, Australia, China, Italy, Russia, Egypt, Brazil, Korea, The U. K.(the United Kingdom)
準備	デジタル教材、国フラッシュカード、Hi Friends 2	教師の支援(★)	評価のポイント (◇)
学習過程	活動内容 (○)	留意点(○)	
Warm up 10分	○T: Hi, how're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○What time did you get up this morning? ○What time did you go to bed last night? ○音と文字		
導入 10分	○PWP コミュニケーションのイメージを持たせながら外国の観光名所、食べ物などについて学習する。 What do you want to eat? I want to eat ~. What do you want to see? I want to see ~の表現の練習をする。	○Input を Output につなげる ○応答表現も一緒に学ぶ。	
活動 10分	○HF2 p18 国が、色塗りした地図のどの位置にあるかを確認し、さらに国と世界遺産と国旗を結び活動を行う。 上記で練習した表現を使いながら行うとよい。	○英語表現を Output しながら行う。	
活動 12分	○国と世界遺産、名物、等の表を作る。 日本の場合は?その他の国は? 例: 富士山、すもも、すし まとめる時に see, eat, 等に分類するとよい。	○日本語で日本の代表的な物を紹介するときに、どのような物が思い出されるか意見を出し合う。子どもが知っている知識を引き出す。	
振り返り 3分	○振り返り H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 6 行ってみたい外国は (3/5)			
単元の目標	自分が行きたい国について伝え合う活動を通して、世界の様々な国の生活の様子の違いに気づき、国や地名を表す単語や、既習事項を用いて、積極的にに行きたい国とその理由を伝え合おうとする。		
本時の目標	語彙・表現	Where do you want to go? I want to go to ~. Why? Because I want to see (eat, buy, ride) ~. Oh do you? Oh ~! Sounds nice (interesting).	
準備	デジタル教材、国フランチンカード	国フランチンカード	
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, how're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○What time did you get up this morning? ○What time did you go to bed last night? ○音と文字	○T: Hi, how're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○What time did you get up this morning? ○What time did you go to bed last night? ○音と文字	
導入 10分	○PWP コミュニケーションの仕方を学ぶ。 Where do you want to go? I want to go to ~. Why? Because I want to eat ~. I want to see ~. の表現を中心に学習する。	○応答表現も一緒に学ぶ。	
活動 12分	○教師と子どもの代表が行う ○グループで練習する。 *時間があれば、全体でも行う。 ○行きたい国が同じ人で集まろう。 ①行きたい国が同じ人が集まる。 ②それぞれのグループで、行きたい理由を言い合う。 ③後で、結果を発表しあったり、まとめたりしてもよい。	○ひとつの国に多くの人数が集まれば、いくつかに分けてもよい。(多くても、7, 8人にする) 少ないところどうしで集まる。	◇自分に行きたい国や、その理由について友達と積極的に話そうとする。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生。 Thank you, ~先生。 H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 6 行ってみたい外国は (4/5)			
単元の目標	自分が行きたい国について伝え合う活動を通して、世界の様々な国の生活の様子の違いに気づき、国や地名を表す単語や、既習事項を用いて、積極的にに行きたい国とその理由を伝え合おうとする。		
本時の目標	語彙・表現	Where do you want to go? I want to go to ~. I want to eat ~ I want to see ~ The United States / America, France, India, Canada, Australia, China, etc. Because I want to see (eat, buy, ride on) ~.	
準備	デジタル教材、ワークシート、発表用シート(データを印刷)	国フランチンカード	
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, how're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○What time did you get up this morning? ○What time did you go to bed last night? ○音と文字	○T: Hi, how're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○What time did you get up this morning? ○What time did you go to bed last night? ○音と文字	
導入 10分	○準備 子どもは自分が興味のある国について調べ、ワークシートに書き込む。(前の時間と違ってよい。本当に興味のある国について調べ、まとめる) 国の名前の発音と文字などをALPに確認する。 表現は今まで学んだものを活用しながら行う。 例 I want to go to India. Because I like tigers, so I want to see the Bengal tigers. And I want to eat curry, too.	○ワークシート ○ワークシート	◇自分の行きたい国について調べ、まとめようとしている。
活動 10分	○準備 ワークシートをもとに、行ってみたい国について一人一人、画用紙を使ってイラストや写真でアピールできるようにする。	○発表用シート 準備 ○発表に使用する画用紙に、字は書き込まない。	
活動 12分	○準備 準備ができたら練習する。		
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生。 Thank you, ~先生。 H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 6 行ってみたい外国は (5/5)			
単元の目標	自分が行きたい国について伝え合う活動を通して、世界の様々な国の生活の様子を伝え合うこと、国や地名を表す単語や、既習事項を用いて、積極的にいきたい国とその理由を伝え合うとする。		
本時の目標	授業・表現	Where do you want to go? I want to go to ~. I want to eat ~ I want to see ~ The United States / America, France, India, Canada, Australia, China, etc. Because I want to see (eat, buy, ride on) ~.	
準備	デジタル教材	教師の支援(☆)	評価のポイント (◇)
学習過程	活動内容 (○)	留意点(○)	
Warm up 10分	○T: Hi, how're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○What time did you get up this morning? ○What time did you go to bed last night? ○音と文字 ○準備と発表		
導入 10分	○発表 準備ができたなら、iPad 等で撮影する。動画として残しておく、評価のポイントの材料としたり、snowman に up する材料としたりする。	○ビデオ用カメラ 準備	○積極的に発表しようとする。
活動 22分			
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 7 将来の夢 (1/5)			
単元の目標	将来の夢を伝え合う活動を通して、職業を表す言葉の違いに気づき、将来就きたい職業や就きたい理由について、職業を表す単語や、既習事項や言い換えを活用して、自分の将来の夢を積極的に伝え合うとする。		
本時の目標	授業・表現	soccer(baseball) player, doctor, nursery school teacher, pastry chef, game creator, teacher, nurse, diplomat, police officer, cartoonist, architect, pharmacist, chef / cook, fashion designer, scientist, beautician, preschool teacher, government worker, engineer, office worker, scientist	
準備	デジタル教材、全国小学生のなりた職業ランキング表	フラッシュカード	文字カード
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○What did you have for breakfast? ○音と文字		
導入 10分	○PWP 全国の小学生のなりた職業は近い年度で、全国小6なりた職業を紹介しながら、英語を習入する。(子どもたちに当てさせるクイズ形式にする)とよりいろいろな話を盛り込みながら楽しく行う。	○時間の配分を考えて子どもに当てさせる物と、発表するもののパランスを考える	
活動 10分	○PWP 職業の言い換えの仕方 (PWP 書き) 運転手 (train driver) ,heart doctor (心臓外科医), animal doctor (獣医)等は正式な言い方ではないが意味は通じる、このような言いかえの仕方に触れる。他の言い方についても考える。 ○自分のなりた職業は？ 現在の時点で子どもたちは何になりたいかそれはどうしてかの考えをまとめる。 ALT がいれば、職業に当たる英語を確認する。 * 子どもたちのなりた職業を記入させ、集めて、確認しておく。	○難しい言葉を返すのではなく友達にわかるように説明する ○この時点で、理由は日本語でまとめる ○友達に自分の夢を語ることに抵抗があるなら、2番目の夢を語っても良い等の配慮をする。	
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 7 将来の夢 (2/5)		語彙・表現
単元の目標	将来の夢を伝え合う活動を通して、職業を表す言葉の違いに気づき、将来就きたい職業や就きたい理由について、職業を表す単語や、既習事項や言い換えを活用して、自分の将来の夢を積極的に伝え合おうとする。	
準備	デジタル教材、クラスのランキング表	
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)
Warm up 10分	○T: Hi, class! How's it going? C: Good, (thank you,) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What did you have for breakfast? ○音と文字	
導入 10分	○職業の名前を復習 クラスのランキングを発表しながら職業の名前を復習する。 クラスの子どもがなりた職業で、また出てきていないものがあれば、2, 3紹介する(簡単なものに限る) 言い換えできるものがあれば、紹介する。	○ 言い換への例 university teacher scientist in NASA flower shop person
活動 10分	○MOVIE② 会話 What do you want to be? I want to be a ~. MOVIE のスビーチを一人ずつ聞き返しなが、教師はそれぞれの人のスピーチに対して子どもに質問をする。 What does she (he) want to be? 子どもは She wants to be a pastry chef. 又は Pastry chef. など答える。 How about you? を使った会話は余裕があれば行う	○MOVIE ○職業の言い方を 自然と練習する。
活動 12分	○何になりたい? 教師が何人かの子どもに質問する。 What do you want to be? 子ども同士で聞きあう。 What do you want to be? I want to be a ~. Oh, ~. Really. Oh, do you?	◇友達に英語 で質問したり 、答えたり しようとして いる。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.	

6年 Lesson 7 将来の夢 (3/5)		語彙・表現
単元の目標	将来の夢を伝え合う活動を通して、職業を表す言葉の違いに気づき、将来就きたい職業や就きたい理由について、職業を表す単語や、既習事項や言い換えを活用して、自分の将来の夢を積極的に伝え合おうとする。	
準備	デジタル教材	
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)
Warm up 10分	○T: Hi, class! How's it going? C: Good, (thank you,) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○What did you do last night? ○音と文字	
導入 5分	○MOVIE③ さらに会話を聞く What do you want to be? I want to be a ~. Why do you want to be a ~? Because I like (I'm good at ~. I want to help ~.)	
活動 10分	○MOVIE③ 学生の言ったことに対して3択問題 学生の顔を見ながら質問 What did she say? "I like children." "I want to help sick people." "I'm good at English."等 どれが正しいか英語で答える。	○ミニートにして 担任が問題を出し ても良い。 ○英語を別かせ、 英語を繰り返すこ とによって自然と 英語を話せるよう にする。
活動 17分	○MOVIE 理由を英語で答えるようにする。 MOVIE 参考に自分の考えを英語でまとめる。 ○自分の考えを友達と話そう。 S1: What do you want to be? S2: I want to be a ~. S1: Oh, do you? Why? S2: Because I ~. S1: Sounds good.	◇理由はひとつで もよい。 ○理由を英語で言 えるように支援す る。
振り返り 8分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.	◇将来の夢に関 して、友達に英 語で質問したり 答えたりしよ うとしている。

6年 Lesson 7 将来の夢 (4/5)			
単元の目標	将来の夢を伝え合う活動を通して、職業を表す言葉の適切な使い方を活用して、自分の将来の夢を積極的に伝え合おうとする。		
準備	デジタル教材	本時の目標	職業・表現
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆)留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○What did you do last night? ○音と文字		
導入 10分	○復習 自分の考えをさらに他の友達と話す。 S1: What do you want to be? S2: I want to be a ~. S1: Oh, do you? Why? S2: Because I ~. S1: Sounds good. S2: How about you, ~?		
活動 5分	○MOVIE ④ モデルスピーチ 学生スピーチ I'm ~, I like(have) ~. I want to be a ~. Because I like ~, (I'm good at ~, I want to help ~) Thank you.	○職業の名前を復習したり、理由を言う時の文型などを学習したりする。	
活動 12分	○発表原稿の作成 I'm ~, I like (have) ~. I want to be a ~. Because I like (I'm good at ~, I want to help ~) Thank you. 等の基本表現を書いたものを渡し、の英語を書いたものを写す。発表の練習はするが、発表する時は紙を見ない。	○理由を二つ以上言えるように考え、練習する。	◇将来の夢について考え、英文で練習しようとして練習している。 ◇文字に興味を持ち、写そうとしている。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 7 将来の夢 (5/5)			
単元の目標	将来の夢を伝え合う活動を通して、職業を表す言葉の適切な使い方を活用して、自分の将来の夢を積極的に伝え合おうとする。		
準備	デジタル教材	本時の目標	職業・表現
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆)留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○What did you do last night? ○音と文字		
活動 32分	○発表 ビデオに撮ってもらい、さらにそのビデオを他校や、海外の友達に送ってお互いの夢を語ることで交流してもらい。		◇将来の夢について、友達の前で発表できるように促す。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 8 アフレコスキット (1/2)			
単元の目標	既習事項を使って場面に適したせりふを考える活動を通して、同じ場面でも使われる言葉によって印象が変わることに気付き、既習事項や言い換えを活用しながら、積極的に表現しようとする。		
本時の目標	語彙・表現 What's this (that)? It's ~. Do you like ~? Yes, I do. No, I don't. What ~ do you like? I like ~. Where do you want to go? I want to go to ~. What do you want to be?? I want to be a ~.		
準備	デジタル教材		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the date today? ○What did you do during your winter vacation? ○音と文字		
導入 10分	○既習の文型の復習 教科書、絵、ALTとの様子を見せながら文型を復習する。 What's this (that)? It's ~. Do you like ~? Yes, I do. No, I don't. What ~ do you like? I like ~. Where do you want to go? I want to go to ~. What do you want to be?? I want to be a ~.	☆教師は絵を説明したり、最初の英語を言ったりしてヒントを与える。 ○文字は見せないでオーラルで言えるようにする。	
活動 22分	○PWP さらに練習が組み込まれている (一方の音調は決まっていて他方の音調を考える) 一方の問いに、何を答えたらよいか考えて発表する。 ○練習 ①一人の人物が何かを話している写真を見せる。 ②今まで学習した英語表現を状況に合わせて考える。 (HERTとALTが見本を見せる)	○PWPの説明を参照	◇友達と協力して練習している。 ○友達と協力して台詞を考えようとしている。
振り返り 3分	*PWPの中に組み込まれている。 ○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		

6年 Lesson 8 アフレコスキット (2/2)			
単元の目標	既習事項を使って場面に適したせりふを考える活動を通して、同じ場面でも使われる言葉によって印象が変わることに気付き、既習事項や言い換えを活用しながら、積極的に表現しようとする。		
本時の目標	語彙・表現 What's this (that)? It's ~. Do you like ~? Yes, I do. No, I don't. What ~ do you like? I like ~. Where do you want to go? I want to go to ~. What do you want to be?? I want to be a ~.		
準備	デジタル教材、アフレコ用PWP		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援(☆) 留意点(○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! How's it going? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What did you do during your winter vacation? ○音と文字		
導入 10分	○アフレコしよう ①アフレコ用の写真から教師が写真を選んでおく。 ②子どもがさらにその中から写真を選び、写真にあわせてセリフ(前の時間に学習した文型の中から選ぶ)を練習する。	○アフレコ用PWP	○友達と協力して練習している
活動 22分	○アフレコしよう 写真にあわせてセリフを話し、発表する。(アフレコ用PWPあり)		○友達と協力して発表している
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H(A): You're welcome. Have a nice day.		